

令和5年度

事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

社会福祉法人 宮古島市社会福祉協議会

令和5年度事業報告

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、各種団体における行事や事業活動も増え、次第に地域社会の活動も活発化しコロナ過以前の状態に戻ってきています。

宮古島市社会福祉協議会におきましても、赤い羽根共同募金事業や、地域福祉活動事業等も計画に沿って事業を進めることができており、高齢者福祉、児童福祉、母子父子福祉等においても活動を充実させることができました。具体的にはサマーボランティア活動で学生が高齢者宅を清掃したり、小中連携により読み聞かせを行うなど、活動を着実に遂行しております。加えて、令和5年度は福祉講話等、福祉教育の実績も増え、教育面における福祉の浸透も進んできておりまます。生活困窮者支援等事業では市民講座等活動がさらに充実しており、フードバンク事業は、フードボックス設置等関係機関に引き続き協力いただくと共に、食品寄贈もあり、子ども食堂等への支援や必要な方への支援に繋げることができました。自然災害や戦災による影響のみならず、物価高騰、家賃高騰等、様々な要因により生きづらい環境の中、食の安心確保は今後も重要です。

受託事業関係では、長寿大学、介護予防普及啓発事業、介護予防活動支援事業の実績が伸びています。長寿大学講座や通いの場・いきいき百歳体操の活動増加、生きいき教室利用者の数値が増えており、超高齢化社会への対策として、介護予防の観点から、確実に予防に繋げることができます。また、活動におけるボランティアの存在は、地域包括ケアに繋がる地域共生社会の重要な位置づけになっています。

今後の最重要課題として、人材確保があり、高齢者人口がピークを迎える2040年に向けて、社会福祉の中核を担う存在としてあり続けるために、働きやすい職場、魅力ある職場を目指して、改善に取り組む必要があります。

重点目標達成状況

AA;100%～86% A ; 85%～51% B;50%～26% C;25%～0%

1. 組織運営、経営基盤体制の強化

毎年の監査により運営チェックが行われており、ホームページ等により情報開示を行うことで運営の透明性を確保するとともに、各種規程の新設・改正で組織基盤の強化を図っている。令和5年度は安全衛生管理体制を整え、各事業場の安全衛生推進者との連携を強化し、連絡会において情報共有し体制強化を図ること

A

2. 職員の資質向上

新任職員研修、現任職員研修、管理者研修を企画し各階層に対応し実施した。今年度は労働安全衛生について、外部講師により研修を開催し、職場環境の改善、災害予防や健康維持について知識を深めた。

AA

3. 事業の効率化

地域計画推進事業では業務支援システムの導入により業務改善を行っている。また、年金や労働基準監督署等、各機関への届出等を電子システムで行うことにより、時間短縮をすることが出来た。また、ネットバンキングの活用により、直接窓口へ行くことなく振込でき、業務の改善につながっている。

AA

4. 活動財源の安定確保

活動制限がなくなり、計画に沿い会費や赤い羽根募金活動がスムーズに実施された。寄附収入の伸びもあり、今年度の地域福祉財源確保は安定している。事業部門において、介護事業の収入が減少しており、今後の課題である。

A

5. 部門間協働の強化

各部署の会議を定期的に開催し、職員間で情報共有している。又、課長会議、役員会議が定期で開催され、情報共有及び懸案事項の協議されており、意思決定がスムーズである。広報委員会では各部署職員が参加することで連携を強化。事業部門でもBCP作成や業務改善で事業間での共有が進み、又、安全衛生推進者連絡会等各種会議で各課所属職員が参加し、連携が充実している。

AA

6. 活動拠点の安定確保

老朽化が進んでいる指定管理施設については、宮古島市担当部署と移設先について協議を継続して行っている。総合福祉センターの建設については、市への要請を引き続き行っている。

A

7. 地域福祉活動計画の推進

第3次地域福祉推進計画に基づいた事業計画を策定し、各論において目的を掲げて事業を展開している。根幹となる地域福祉推進計画に基づいて事業展開することができ、課題解決に向けて取り組むことが出来ている。

AA

具 体 的 事 業

評価 (AA=100%~86% A=85%~51% B=50%~26% C=26%~0% D=終了)

I、一人ひとりが福祉の担い手となる人づくり

1. 福祉意識の啓発と機会の充実

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
映画上映会	目的	福祉に関する映画の上映会をすることにより地域福祉活動に対する意識の啓発を行う。	
	内容	広く市民や関係団体へ参加を呼びかけ福祉に関する映画の上映会を実施する。	
	実績	未来創造センターにて7月に『みんなの学校』上映会を開催。午前・午後に分けて2部上映を行い、190人を超える来場者数があり好評を博した。	
	効果課題	福祉教育の一環として、地域に暮らす誰もが一人ひとりを認め合い支え合い助け合う「地域共生社会」への実現に向けて考えるきっかけづくりとともに、地域福祉活動に対する周知啓蒙を図る機会となった。	評価 AA
宮古島市障がい者スポーツ交流大会	目的	障がい者の社会参加の促進、及びあらゆる世代と身体の不自由な方そうでない方の相互理解を深める。	
	内容	障がい者団体・学生ボランティア・意思疎通団体で、レクリエーションを実施する。	
	実績	JTAドームにて、ボッチャ及びモルックを用いた交流会を実施。 参加者 ・ 社協職員7名、宮身協支部会員21名、沖縄県聴覚障害者協会会員5名、宮古総合実業高校ボランティア5名、手話通訳士2名、外部講師1名	
	効果課題	・ 障がい者の社会参加促進、意欲向上が期待できる。 ・ 参加者の、相互関係の強化につながる。 ・ ボランティアの交流による障がい者への理解を深める。 ・ ボランティア募集時期を検討。	評価 A
新入学児童学用品配布事業	目的	児童福祉に関する社会的関心を喚起するとともに、宮古島市の次代を担う子供達の健やかな成長を地域で支え、又、地域、民児協、学校、社協との繋がりを持ちながら児童福祉の向上を図る。	
	内容	宮古島市内の新入学児童（小学校入学）へ赤い羽根共同募金配分金を財源に学用品を配布する。	
	実績	・ 市内15校、540名へ配布 ・ 国語ノート、算数ノート、鉛筆、色鉛筆、下敷き等各学校の要望により配布	
	効果課題	・ 新入児童へ学習意欲の向上が期待できる。 ・ 学校、民生委員児童委員、社協との連携が期待できるとともに、赤い羽根共同募金の使途及び地域の相談支援体制の周知が期待できる。	評価 A
受託事業			
事業名	内 容		
宮古島市長寿大学開催事業（宮古島市より受託）	目的	地域の高齢者が家に閉じこもらず、生きがいを高めるため、また、仲間づくりの輪を広げるためにレクリエーション活動や各種教養講座等を学習することにより充実した日常生活を創造し、健康づくりに寄与する。	
	内容	開講式（5月）、閉講式（2月） 開設講座：大正琴（4）、三線（4）、クラフト、ヨガ、フラダンス、歌と発声、詩吟、琉舞（2）、日舞（4）。 計：19講座	
	実績	利用者延べ人数3356人（前年比137%） 19講座×22回=418回実施 実績資料（1）	
	効果課題	・ 前年度より募集を早めた事で911人の参加者増。 ・ 募集方法は、市広報誌・SNS・ラジオ・新聞等を利用。 ・ 男性利用者の参加増を図る為、新規講座及び短期講座の開設が必要。	評価 AA

2. 担い手となる人材の育成・確保

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容	
ボランティアセンター運営事業	目的	宮古島市内の福祉ボランティアを必要とする方とボランティアをやりたい個人・団体をスムーズ及び迅速に繋げるため設置。
	内容	ボランティアを必要とする団体・個人と、ボランティア活動を希望する団体・個人を繋げる。ボランティア保険の加入受付及び相談。学生ボランティアへの活動機会提供。その他、ボランティアに関する相談業務。
	実績	実績資料 (2)
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアパスポートの配布により学生のボランティア意欲が高まった。 保険加入によりボランティア団体の活動促進に繋がる。 センターの周知や、ニーズ調査及びマッチング不足。専門的取り組みに向けた、人員不足。
サマーボランティア研修	目的	市内の中・高校生を対象にボランティア活動を始めるにあたっての心構え、障がい者や高齢者へのボランティア活動を行う上での基礎的な知識などの研修を行うとともに障がい者スポーツ体験、一人暮らし高齢者宅清掃ボランティアなどを通し実践的な活動を体験する。
	内容	福祉講話と高齢者宅清掃体験、焼き出し体験を行う。
	実績	市内中学校4校、市内高校2校、計31名参加 1日目：4団体による福祉講話、1団体による実践発表。 2日目：高齢者宅清掃3件、焼き出し
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> 福祉について学び、ボランティアの重要性を感じた。 その後の障害者スポーツ大会や、赤い羽根街頭募金等に、多くの生徒が参加された。 4年振りの実施につき、各学校への認知度が低下していた。 参加者増に向け、会場や実施内容の工夫が必要。
ハンディキャップ体験学習	目的	高齢者、障がい者への基礎的な介助方法や接し方などの理解を深める。
	内容	4月に市内各小中学校へ案内文書を送付し、申込のあった学校で実施。小学生を対象に、①アイマスク・白杖を用いた視覚障がい疑似体験 ②手話サークルと同行し聴覚障がい者のコミュニケーション手段の学習 ③車椅子を用いて基礎的な介助方法の実習 ④ユニバーサルスポーツであるモルック体験 ⑤高齢者疑似体験セットを装着し日常生活の不便さを体験し、合わせて介助方法も学ぶといった5種の体験学習を実施。体験学習の前にミニ講話をを行い理解を深める準備を設けたことと、振り返りシートを活用することにより更に関心と探求心を高める効果にもつながった。 また、福祉についての基本的な内容や貧困問題、フードロス問題などSDGs関連、インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインなどグローバルかつ多分野にわたる福祉講話も併せて行うことにより、高齢者や障がい者のみならず困難者支援等への理解を深め、地域共生社会への実現に向けて学びの機会を作った。
	実績	東小学校、城辺小学校、鏡原小学校、下地小学校、久松小学校、西辺中学校、城東中学校 のべ13校で実施。 1学期～3学期まで各学期ごとに複数回申し込みのある学校もあり、また、前年度の体験学習が好評であったため今年度も申込みたいとの学校も複数あった。
	効果課題	<p>加齢に伴う心身機能の低下や障がいといった、誰もが直面する可能性がある部分において、講話や疑似体験を通して当事者の思いや不自由さを知ることができ、障がいの有無に関わらず誰もが暮らしやすい社会の構築を進めていく中で、自分にできることは何かを考え、インクルーシブなまちづくりを進めていくけるような、次世代の福祉を担う人材づくりへと繋がることが期待できる。</p> <p>今年度は身体障がいなど目に見える障がいの疑似体験がメインであったが、次年度は「発達障がい・知的障がい」といった目に見えない障がいについても理解を深め、気付きや学びにつなげていけるような福祉教育プログラムを実践したい。</p>

事業名	内 容		
一人暮らし高齢者宅清掃	目的	地域に住む一人暮らし高齢者との交流と生活環境を整えることにより在宅生活を続けられるようにする。	
	内容	民生委員の紹介で地域に住む一人暮らし高齢者宅へサマー・ボランティア参加の学生が訪問し、清掃活動を行いながら交流を深める。サマー・ボランティア研修と連動し、参加学生に実施してもらう。	
	実績	友利地区1件・宮国地区1件・上野地区1件 計3件の実施	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 体験により当事者や活動関係者とのコミュニケーションが図られ、やりがいを実感していた。 受け入れ先の特定が難しく、民生委員の苦労が見えた。 	<p>評価</p> <p>B</p>
宮古地区障がい者スポーツ大会のボランティア募集	目的	宮古地区障がい者スポーツ大会のスムーズな運営協力。	
	内容	大会参加者の移動支援及び、競技実施中の援助。 運営スタッフとして、大会役員の指示に従い各競技への協力をを行う。	
	実績	市内中学校9校 市内高校1校 計10校より参加 中学生58名 高校生12名 計70名参加	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 競技役員及び選手誘導等を担う事で、大会日程のスムーズな運営に協力できた。 大会事前説明会へ担当教諭を招待する等、当日の伝達では無く、事前伝達が必要。 	<p>評価</p> <p>A</p>
ボランティア団体への助成	目的	学校ボランティア・ボランティア団体へ助成を行い、ボランティア活動の充実強化を図る。	
	内容	各学校及び、社協ボランティアセンターへ登録しているボランティア団体へ郵送で案内し、希望する団体へ内容を審査し助成金交付。	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 一般ボランティア団体 20,000円×7団体へ助成 140,000円 学校ボランティア団体 20,000円×7団体へ助成 140,000円 ボランティア助成金予算490,000円 助成額280,000円 執行率57.1% 	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 助成金の交付により、活動強化が期待できる。 社協広報誌や社協ホームページで周知をおこなったが、次年度からは地域福祉課公式LINE・Instagram、宮古島市広報誌等に依頼をかけてさらに周知を図る。 	<p>評価</p> <p>A</p>

II、地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

1. 地域で支え合う仕組みづくり

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
ふれあいいきいきサロンの推進	目的	高齢者の交流の場への助成により高齢者の外出の機会を増やし引きこもりを減らすことにより在宅生活の充実を図る。	
	内容	地域のボランティアを中心とした高齢者の交流の場となるサロンへ助成を行う。	
	実績	実績資料（3）	
	効果 課題	<p>新型コロナウィルス感染症も落ち着きを見せ始め各サロンとも活動を開始し始めている。参加者の後継者不足で1か所活動停止したサロンがあった。</p> <p>各サロンへの訪問を今後も実施、良好な関係構築が期待できる</p>	<p>評価</p> <p>A</p>
サロン代表者会議の開催	目的	ふれあいいきいきサロン代表者対象の勉強会実施。	
	実績	令和5年5月に開催	
	効果 課題	代表者を一堂に会し助成金の交付を行うと共に、地域包括支援センター職員による講話を実施。	<p>評価</p> <p>A</p>

事業名	内 容		
防災訓練・災害時ボランティアセンター開設訓練	目的	災害発生時の災害時ボランティアセンター開設を迅速に行うため、職員の防災意識向上と危機管理意識向上のため訓練を行う。	
	内容	大規模災害発生を想定し、災害発生から災害時ボランティアセンター開設までを職員を対象に訓練を行う。	
	実績	令和6年1月、宮古島市防災危機管理課より宮古島市で想定される災害及び宮古島市の取り組み状況について講話を開催。また、3月には飲食業組合、調理師会と共に災害時の炊き出し訓練の実施。また、企画総務課より災害ボランティアセンター全国研修、県内研修へも参加。	
	効果 課題	現在の宮古島市の現況を把握する事、実際に炊き出し訓練を実施することで、一つ一つ課題について整理ができる状況。本協議会より、全国研修等で災害ボランティアセンターの役割を学ぶことで、令和6年度実施予定の防災訓練・災害時ボランティアセンター開設訓練に繋がる研修となった。	評価 A
各センター防災訓練	目的	火災発生時利用者、職員の迅速な避難と被害を最小限にとどめるため避難誘導等の訓練を行う。	
	実施時期	防火管理者を中心に訓練計画を作成、消防本部と連携し119番通報、初期消火、避難誘導、避難後の人員確認等を訓練を行う。	
	実績	社会福祉センター、小規模多機能型居宅介護事業所たかやま、小規模多機能型居宅介護事業所きや一ぎで実施。避難訓練も兼ねて、介護利用者も参加し災害時避難を想定して行った。	
	効果 課題	防火訓練だけでなく、災害を想定した訓練を行うことで、防災への意識を高めることができた。 今後も災害を想定した訓練の機会を確保していきたい。	評価 A
防災関連団体連絡会	目的	大規模災害発生時に迅速な対応を円滑に行うため、定期的に関係機関で協議を行う。	
	実施時期	宮古島市役所防災危機管理課、福祉政策課との連絡会。	
	実績	宮古島市役所防災危機管理課と意見交換実施。	
	効果 課題	宮古島市の現状等について意見交換を行い、現状の課題等の整理を行った。また、地域福祉課を中心とした職員研修において、防災危機管理課より講話ををして頂き、社協職員としても現状をふまえた課題整理を行うことができた。 一過性で終わるのではなく、今回の研修をふまえて令和6年度以降も関係機関と連携を図り、災害時に備えていきたい。	評価 A

事業名			内 容		
宮古島市地域福祉計画推進事業 (宮古島市)	目 的		ふれあい総合相談支援センターにコミュニティーソーシャルワーカー(CSW)を配置し、地域福祉活動のネットワーク化の推進等を図ることによって、地域で福祉の支援を必要とする市民(要援護者)への支援を行うとともに、要援護者の自立生活支援のための基盤づくりを行い、地域福祉の向上を図ることを目的とする。		
	内容		<p>①小地域福祉活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とCSWの信頼関係の構築と強化 ・住民へ福祉に関する情報提供及びCSW活動の周知 ・地域の特徴や住民のニーズ把握 <p>②小地域ネットワークへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域ネットワークの構築、拡充、強化、周知等 ・地域見守り活動支援等各団体への活動協力 <p>③要援護者への相談対応・支援</p> <p>④関係機関との体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSW事業関連会議、研修会への参加 <p>⑤CSW活動の広報活動</p> <p>⑥日本語教室への支援</p> <p>⑦新たな福祉サービスの研究・開発</p>		
	実績		<p>※①②③④⑥は実績資料(4) ①、②、③も実績資料参照。</p> <p>①⇒小地域ネットワーク(地域づくり支援事業) ②⇒小地域ネットワーク(地域ニーズに沿った支援) ③⇒年間相談件数、ケース会議開催状況 ④ケース検討会開催や各関係機関・団体等との連絡会等参加・ ⑤自治会サポート事業への参加及び地域福祉懇談会、少地域ネットワーク開催 積極的な研修参加によるCSWの資質向上 ⑥宮古島在住外国人活動支援⇒日本語教室実施状況 ⑦ふれあい総合相談支援センター事業の実施</p>		
	効果 課題		<p>平良第一：内会ごとに大きく特色が異なり、市街地では移住者や子育て世帯、外国人等からの相談が多く、地域との繋がりが希薄で頼る人が身近にいない人も見られる。住宅に関する問題は逼迫している。特に多子世帯は深刻な事情があつても入居可能な物件が無く、過酷な状況を抜け出せず問題はより深刻になっている。 郊外の地域では結束力が強い地域が多いが、それ故、孤立したり弱みを出したがらない人もいる。 免許が無くバス代の捻出も困難で就労や生活に支障があつたり、子ども達の送迎で仕事がままならない世帯もある。 平良地区が2圏域に分かれ3年目、CSWが地域の身近な相談員として関係機関や住民に広く認識され、連携がスムーズになったと同時に、各地区から寄せられる幅広い相談内容と件数の多さに対応しきれないこともあった。 各地区的行事や集会に積極的に参加し、地域のニーズを発見できた。地域の特色、住民一人一人の強みや地域資源を知ることも出来た。 一人の高齢女性の困りごとから地域住民や二層を巻き込み、工業高校と連携し課題解決に向けて支援することが出来た。 地域を巻き込んで社会資源を活用しつつ課題解決に向かってコーディネートしていくプロセスこそが、小地域ネットワークの構築を可能にすることがわかった。</p> <p>平良第2：自治会が設置されていない地域が多く、地域住民のつながりも希薄化している現状がある。 小地域ネットワークの構築の為、民生委員・行政連絡員と話し合いをし、地域の方へ協力依頼をしたが賛同して動いてくれる方が見つからず、足踏み状態である。地域に集合住宅が多く、長年居住している方は高齢の方が多い。 学校との提携、協働は前年度から継続され出前講座等で児童生徒に社協やCSWの業務を伝える事ができた。コロナ禍でも小地域ネットワーク、地域福祉懇談会は実施できた。ただし、小地域ネットワークや地域での見守りを担っている住民が高齢化していくため依然厳しい状況にある。</p> <p>下地上野：従来実施していた公民館での地域福祉懇談会は実施せず、地域住民に対する情報交換会やケース会議は自治会長や役員、地域住民、民生委員児童委員等と共に実施する事ができた。また、包括や各関係機関との連携も頻繁に情報交換できた。 (課題)下地地区や上野地区では、独居高齢者や高齢者世帯、高齢者と一緒に同居している息子や娘の実態、障がい者含む実態調査をアウトリーチしながら実施していく必要がある。</p> <p>伊良部：効果、個別支援に関しては前年度同様であるが40代～50代の相談が目立った。地域の事業所や地域住民から繋がるケースもみられ、少しずつあるがCSWも認知されつつあると感じられる。課題、地域活動は老人クラブ理事会を対象に開催できたが、小地域ネットワークの組織化が出来なかった。地域での見守りが20代～60代の仕事をしている世代では難しく、見守りできるのが60代以上の高齢者という現状である。青年層の小地域ネットワーク参加を促せるかかが課題である。</p> <p>城辺：学校・教育機関との連携でひとり親世帯と多く関わり、法外援助や食の支援ができた。他機関と連携し、高齢・障害・知的障害者の生活のリズムを改善することができた。 城辺地区(特に福嶺学区)は、平良まで行くのに時間かかる。病院受診や買い物への移動手段が少なく大変困っている高齢者が多くいるのが実状である。</p>		
			<table border="1"> <tr> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>AA</td> </tr> </table>	評価	AA
評価					
AA					

2. 地域活動の活性化支援

共同募金、会費等自主財源充当事業		
事業名	内 容	
地域見守り声掛け事業	目的	民生委員児童委員の『友愛訪問』の一環として、地域の世帯を訪問し、民児協、社協との連携により問題・課題の早期発見や早期解決を図る。
	内容	宮古島市民生委員児童委員協議会との共同事業。地域の民生委員の『友愛訪問』の一環として、見守りが必要と思われる世帯を訪問し、民児協、社協との連携により課題の早期発見や解決に向けた取り組みを行う。
	実績	下地上野の民児協と連携しながら、令和5年5月に害虫駆除剤の作製、配布・設置と併せて「友愛訪問」を実施。 城辺地区の民児協と連携しながら豆腐・芋団子作りを開催し、地域住民も多数参加し、交流を持つ良い機会となった。
	効果 課題	社協と民児協が連携して実施する事業ではあるが、5地区の民児協すべてが活用している事業ではないことと、次年度は宮古島市民児協活動補助金の増額に伴い各単位民児協への配分金が増額できるため、次年度以降は当該予算を縮小しても良いと思われる。
民生委員児童委員活動の支援協力	目的	民生委員児童委員と社協は常に「車の両輪」であるため、民生委員児童委員活動の重要性を充分に認識、理解し、積極的に支援協力をを行うことにより地域の福祉向上に繋げる。
	内容	(1) 定例会への協力 (2) 友愛訪問の支援 (3) 福祉カルテの整備協力 (4) 各地区間の交流と研修会の開催 (5) 民児協活動に関する連絡調整 (6) 民児協活動への支援 (7) 民児協事務の協力(事務担当者の配置)等
	実績	市民児協：役員会4回、総会2回の実施。事業計画や予算等について協議。 市民児協・単位民児協に係る事務および各機関との連絡調整、表彰関係、互助事業関係を行った。 今年度は、宮古島市民児協と多良間村民児協合同による研修会を企画。外部講師を招いて、普段の生活の中ですぐに取り組める防災をテーマにした研修を開催した。 また、初の試みとして世代間交流とユニバーサルスポーツ体験を兼ね、市内の保育園児と民生委員児童委員とのスポーツレク交流会を企画。世代や障がいの有無に関わらず誰でも参加でき楽しめるスポーツを通して相互理解を図る機会とした。次年度小学1年生となる児童および保護者を対象に民生委員児童委員の周知広報にもつなげた。
	効果 課題	新型コロナウィルスが落ち着きを見せており、規模を拡大して集合研修やイベント活動を実施できた。各関係機関と密に連携をとりながら準備を進めることができた。 また、沖縄県社会福祉大会、沖縄県民生委員児童委員大会をはじめ、県内外の研修にも事務局含め多数の委員が積極的に参加できた。
福祉団体等助成事業	目的	活動資金としての助成を行うことにより活動を活発にし地域力の向上と住みよい地域づくりが実現できるようにする。
	内容	宮古島市老人クラブ連合会、宮古島市身体障害者福祉協会、宮古地区手をつなぐ育成会、宮古地区身体障害者連合会、宮古島市母子寡婦福祉協会、宮古島市内の申請自治会（自治会サポート事業）へ助成を行い各団体の活動強化を図る。令和5年4月に各当事者団体、自治会へ郵送で案内し、希望する団体へ内容を審査し助成金を交付。
	実績	※自治会サポート事業実績資料（5） 当事者団体助成金を14団体へ助成。 助成金額：420,000円 執行率89.4%
	効果 課題	・自治会員同士による繋がり強化の為、各自治会活動の内容を充実させる事の一助となった。 ・当事者団体の活動支援として本助成金を利用頂けた。 ・まだまだ周知不足で、助成数が例年停滞している。 ・CSWや第2層コーディネーターとの組織内連携が必要。

事業名		内 容	
ふれあいおはなしフェスティバル	目的	市内の子ども達・親・祖父母の交流を図る為、ふれあいの場を設け、子どもたちの健やかな成長を願い、児童青少年福祉活動に活かすこととする。	
	内容	各小学校内で活動している読み聞かせ団体やボランティア団体を実行委員とし、劇やレクリエーションを用いた市民交流の機会。	
	実績	来場者：209名 実行委員及びスタッフ：62名 計271名参加	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 4年振りの実施となり、始めての来場者が7割であったが、楽しんで頂き、参加者間の交流も見られた。 次年度の開催を希望する声を頂く事もできた。 反省会にて、会場の雰囲気作りや、休憩スペースの確保等の意見が挙がり、改善を図り参加者増を見込む。 	評価 A
宮古地区障がい者スポーツ大会への係員派遣	目的	宮古地区障がい者スポーツ大会のスムーズな開催運営。	
	内容	大会役員として職員を派遣する。 宮古地区障がい者スポーツ大会実行委員会との共同事業。	
	実績	大会役員1名・競技役員16名を派遣した。 競技役員内訳（音響2名・集計2名・出発1名・スタートー2名・投技2名・跳躍2名・宮身協選手補助5名）	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 大会本部の指示の下、スムーズな運営を行った。 今大会より例年通りのプログラム開催となった事により、派遣者数を増やした事で、予定時刻内での実施となつた。 事前説明会へ参加した職員からの情報共有が不足。 	評価 A
宮古地区知的障害者スポーツ大会への係員派遣	目的	係員派遣を行うことでスポーツ大会の円滑な運営に寄与するとともに、宮古地区的障害者団体と連携を強化する。	
	内容	職員を派遣する。 宮古地区手をつなぐ育成会との共同事業。	
	実績	出席者：副会長、企画総務課長、事業課長 ニュースポーツ用具貸出：アキュラシー、輪投げ	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 副会長の来賓挨拶、職員2名派遣を行い参加者の意欲向上とスムーズな事業運営に協力した。 用具貸出により、参加者の親睦と交流を図るという目的に貢献できた。 	評価 A
沖縄県身体障害者スポーツ大会への介助員派遣	目的	介助員を派遣することで、スポーツ大会へ障害者が参加しやすい環境を作ることに寄与し、障害者の社会参加を促進する。	
	内容	沖縄県総合運動公園で開催される沖縄県身体障害者スポーツ大会選手の介助員派遣。 宮古身体障害者連合会との共同事業。	
	実績	地域福祉係2名を介助員として派遣。	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 出場選手の生活援助及び同行支援を行う事で、選手全員がメダルを獲得でき、目標達成に協力する事ができた。 参加選手の定例化が見られ、次回以降、未出場の選手を推薦も視野に入れる。 	評価 A
宮古地区障がい者フェスティバル	目的	多くの障がい者とボランティアの交流の場としてのフェスティバルが滞りなく開催できるよう支援する。	
	内容	宮古地区社協連絡協議会が開催する宮古地区障がい者フェスティバルへの事業費負担、大会運営及び係員派遣。 宮古地区社協連絡協議会との共同事業。	
	実績	宮古地区障がい者フェスティバルは未実施であるが、宮古区社協連絡会として防災研修会を開催した。	
	効果 課題	障がい者に関するイベントについては、各障がい者団体等によるイベントが年間を通して企画されており、スポーツ大会やレクレーション大会など増えているため、令和5年度は宮古地区社協として防災研修会を実施し、災害ボランティアセンターに関する情報共有が出来た。	評価 A

受託事業		
事業名	内 容	
介護予防普及啓発事業（生きいき教室）	目的	生きがいと社会参加を促進すると共に、家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者等に対して、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図る。
	内容	概ね70歳以上の元気な高齢者対象 ①高齢者介護予防の取り組み ②ピクニック等の実施
	実績	※実績資料（6）
効果課題	新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行したことにより、利用数、利用者数ともに伸びている。 未開催の地域からの送迎等の課題が残るが、行政区ごとの開催場所を整理することで、今後解消していく見込み。 利用者1名あたりの委託金額が少なく利用者増を目指すための職員の増員が難しい。また車両の老朽化による修繕が必要となっており、事業継続の為にも安定した事業収入と車両の整備が課題となっている。 宮古島市高齢者支援課への要請及び連携を進めた結果、令和6年度から1件当たりの委託金額が増額することとなり、事業の運営はより改善していく見込みとなっている。	

B

3. 情報提供体制・相談支援体制の強化

共同募金、会費等自主財源充当事業		
事業名	内 容	
社協だよりの発刊	目的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い活動への理解と協力が得られるようにする。
	内容	宮古島市社会福祉協議会の様々な事業等を掲載し宮古島市内全戸、（広報みやこじま配布世帯）、特別会員へ配布。
	実績	5月及び12月にカラー版を発刊した。表紙には職員の写真をメッセージ付きで載せ、事業計画・予算、事業報告・決算の概要も掲載した。又、団体会員や特別会員の名称を皆様へ許可を頂き掲載。インタビューコーナーを設け、民生委員会長の声や社協の事業担当者の生の声を伝えることが出来た。クイズコーナーでは毎回応募があり、市民の意見も頂くことが出来ている。
効果課題	表紙に職員の顔とメッセージを掲載することで、広く市民の皆様に知っていただく機会となり、インタビューで民生委員や職員の生の声を届けることが出来、より印象深く伝えることが出来ている。また、団体会員、特別会員の皆様の支援が目に見える形で紹介でき、市民の皆様へ周知する絶好の機会となっている。	
ホームページの活用	目的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い活動への理解と協力が得られるようにする。
	内容	事業計画、資金収支予算、事業報告、決算報告、定款、各種規程等、新着情報、フォトレポートなど様々な情報を公開・発信する。
	実績	決算関係資料や各種規程等の開示の他、フードバンク活動、寄附、事業所通信、新たなマスコットの発表等の情報を発信することが出来た。現在、広報委員会でホームページ改修案が検討されているところである。
効果課題	新型コロナ活動制限の緩和により、様々な事業を実施することが出来てきたり、活動の内容を周知することが出来ている。新たなマスコット「みやっこ」が誕生したことで、活躍の場を広げていきたい。	

AA

事業名		内 容	
マスコミ、宮古島市広報誌の活用	目的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い社協活動への理解と協力が得られるようにする。	
	内容	様々な事業実施に伴う情報や事業実施状況をマスコミや宮古島市の広報誌を活用し情報発信を行う。	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学童募金25校を新聞2社で報道。 ・歳末たすけあい義援金伝達式報道。 ・能登半島義援金を新聞で掲載。 ・災害ボランティアセンター研修会の新聞報道。 ・新入学児童へ学用品贈呈について新聞報道。 ・長寿大学募集や日程を新聞報道で周知、開講式や閉講式の記事掲載し、又、介護予防普及啓発事業募集や日程等を新聞報道で周知。 ・フードバンク寄贈について新聞等で報道。 ・福祉講話、認知症講座、サマーボランティア、読み聞かせ、世代間交流、中高生向けの高齢者疑似体験・ハンディキャップ体験やマナー講座等、広く活動紹介し福祉の啓蒙を行った。 新聞掲載回数 2社合計 596回 ・令和5年度から新たに、地域福祉課においてLINE及びInstagramを開設し、地域福祉関連情報をリアルタイムで情報発信している。 	
	効果課題	<p>長寿大学や各地域生きいき教室の予定をマスコミ及び宮古島市広報誌へ掲載したことにより、利用者が日程を確認しやすくなっている。共同募金配分事業の内容や、宮古島市社協が実施している事業を新聞に掲載することで、市民への福祉啓蒙に繋がっている。</p> <p>LINE及びInstagramでは写真付きでイベントの内容や案内などを掲載し、市民への周知がスピード感をもって周知できている。</p>	<p>評価</p> <p>AA</p>
各介護事業所活動内容の広報	目的	官古島市社会福祉協議会で行っている、介護保険事業、障害者総合支援事業等の活動内容、事業内容を広報するため、ホームページやチラシ、掲示板等を利用し広報活動を行う。	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能居宅介護事業所きやーぎ及びたかやまが発行する「たより」を各施設前に掲示場を設置し掲示するとともに、ホームページ新着情報へ掲載。 ・社会福祉センター、各老人福祉センターへ掲示板を設置し、各センターで行っている事業の広報及び内容を掲示板に掲載する。 	
	実績	<p>ホームページ上で小規模多機能型居宅介護事業所の外部評価結果を掲載した。又、介護サービス情報公表システムへ毎年情報を公開している。</p> <p>各事業所玄関先には外部評価結果を閲覧できるようにしており、事業所だよりも手に取ってみることが出来るようになっている。</p>	<p>評価</p> <p>AA</p>
	効果課題	<p>事業所の来訪者に対し、玄関先に事業所の外見を掲示することで、活動の様子をうかがうことでき、情報発信に繋がっている。</p> <p>外部評価は事業所玄関先に設置されており、来訪者に対し事業所の評価を発信している。</p> <p>ホームページ上に外部評価結果を掲載することで、活動内容や委員の意見等も閲覧でき、より詳しく事業所を知ることができる。</p>	
広報委員会	目的	広報活動について幅広い意見を得て広報について検討する。	
	内容	社協だより、ホームページの内容を検討するほか、広報活動全般について意見を交わし、より効果的な広報活動につなげる。	
	実績	令和5年度は、計5回の広報委員会を開催。前年に引き続き、各課から2名及び民生委員から1名が広報委員として参加し、広報誌やホームページ等について話し合いを行い、意見を反映させることができた。	
	効果課題	<p>社協だよりは、引き続きカラー版で発刊。表紙には職員の顔とメッセージを掲載し、社協職員が表に出て広く市民に知っていただく機会となっている。また、社協だよりに掲載するクイズコーナーでは、毎回複数の応募があり、意見を頂くことが出来ている。令和5年度はホームページ内容が新たに刷新され、より見やすい内容となった。</p>	<p>評価</p> <p>AA</p>

受託事業		内 容	
事業名			
地域子育て支援拠点事業（つどいの広場くれよん）（宮古島市より受託）	目的	親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや、ボランティアを活用しての育児相談などを行う場を身近な地域に設置する事により、子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て、子育ちができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	
	内容	①利用対象乳幼児（0歳～5歳）とその親等 ②子育てに関する相談、援助の実施（子育ての悩み相談等） ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑤関係機関との連携 ⑥積極的な研修参加による職員の資質向上	
	実績	※利用状況については実績資料（7） コロナ禍であったが、人數制限しながら、昨年度以上の稼働率があり、行事も規模縮小しながら月1回～2回の頻度で開催することができた。	
	効果課題	前年度より656人の参加延べ人数増となり、前年度以上にたくさんの親子の利用が行われた。慢性的な保育士不足等により職員一人体制が数か月続く状況もあり、安定的な事業運営には職員の働きやすい環境作りを行い、職員の定着を図る必要がある。	評価 A
地域包括支援センターひらら、みやこ（宮古島市より受託）	目的	介護・医療・保健・福祉などのさまざまな面から高齢者を支える「総合相談窓口」として、高齢者の皆さんの心身の状態に合わせて地域で自立して生活できるように「介護予防の支援」、虐待の相談や成年後見制度活用の支援など「高齢者の権利を護る」支援、包括的・継続的に「住みよい地域づくり」支援を行う。 地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などをを行い、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として市町村が設置。 宮古島市地域包括支援センターひらら（平良圏域） 宮古島市地域包括支援センターみやこ（平良圏域以外）	
	内容	高齢者の保健医療の向上及び福祉増進の包括的支援事業。 地域包括支援センターの主な業務は次の5つ。 ①介護予防ケアマネジメント業務 ②総合相談支援業務 ③権利擁護業務 ④認知症カフェの実施 ⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援業務一体的に実施	
	実績	※件数等については実績資料（8）	
	効果課題	総合相談事業は若干件数減少はみられるが、高齢者虐待において件数増があり対応がなされている。地域ケア会議回数及び参加も増え、多くの事例検討等がなされた。認知症対応については、専門職の活動も充実しており、認知症カフェは参加人数が前年比約1.6倍と効果が出ている。	評価 A

介護保険関連事業			
事業名	内 容		
居宅介護支援事業	目的	介護サービスに関する申請の代行や介護認定を受けた後に、在宅で介護を必要としている要介護者(要支援者)やその家族の状況、生活環境、意向に応じたケアプランを、介護支援専門員(ケアマネージャー)が作成し、そのプランに基づいて、適切な居宅サービスが提供されるよう、事業者関係機関との連絡調整を行うなど、在宅での介護支援を行う。	評価 A
	内容	アセスメント、ケアプラン作成、担当者会議開催。 モニタリング、給付管理業務、介護相談業務。	
	実績	※件数については実績資料(9)	
	効果課題	困難事例など他事業所や関係機関と連携を図りながら解決方法などをうまく模索する事ができた。また、研修なども積極的に参加しスキルアップすることができた。 課題として、去年に引き続き介護支援専門員の募集を随時行っているが、補充の目途はたっておらず新規採用者も訪れない状況。今後、要介護者や要支援者の増加が見込まれる中で新規の申込者に対応できる事ができないという不安がある。	
特定相談事業	目的	障害のある方やご家族から障害福祉サービスを利用するにあたっての相談や、日常の相談を受付、障害福祉サービスの利用計画の作成を行い、在宅生活、在宅サービスを受ける支援を行う。	評価 A
	内容	さまざまな障害福祉に関する相談に対応し、障がい福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画を作成する計画相談及びモニタリングを行う。	
	実績	※件数については実績資料(10)	
	効果課題	宮古島市の相談員の人材不足で、障害福祉課からの新規の相談員の依頼が多い傾向にあるが、全てを受け入れる事が出来ない状況となっております。 利用者の高齢化で自宅でのサービスが難しく、施設の空きがない状況で、入所も困難となっている。	

III、誰もが安心して暮らしていけるまちづくり

1. 権利擁護の仕組みの充実			
受託事業			
事業名	内 容		
日常生活自立支援事業（権利擁護）	目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不充分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助を行うことにより、在宅での自立生活を支援するため実施。	評価 A
	内容	①生活支援員連絡会の定期的な開催（3回/年） ②行政や関係機関との連携強化 ③積極的な研修参加による専門員の資質向上	
	実績	※件数等については実績資料(11)	
	効果課題	依然として専門員が1名不足の状態だが、令和5年10月より新規相談受付再開することとなった。10月から現在まで新規相談は19件（R6. 2月末）あり、新規契約も3件（R6. 2月末）行っている。専任の専門員が意欲的に新規契約に向けて取組んでおり、令和6年度も専門員や生活支援員の勤務状況に配慮しながら新規契約に取り組んでいきたい。 (AA) 毎年課題として、生活支援員不足があり、今年度は特に長期休みや今年度で退職される支援員もあり、支援員不足は深刻な課題となっている。 生活支援員募集に向け各関係機関へ赴き事業説明をするなど、次年度も引き続き生活支援員確保に向けて取組む必要がある。	

事業名		内 容		
法人後見受任事業（宮古島市より受託）	目的	判断能力が不充分なために意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人又は補助人に就任することにより本人の権利擁護を図り、もって地域福祉の推進に寄与する。		
	内容	①サービス内容；財産管理と生活上の相談や利用者の安心生活のため 身上監護を行う ②被後見人の適正な決定；運営審査委員会を設置し、専門家の意見により 後見人等の受任の判断を行う。 ③関係機関との連携；宮古島市、各種施設、日常生活自立支援事業と 連携し後見の必要な市民の適正な利用を推進する。 ④積極的な研修参加による専門員の資質向上；研修会等へ積極的に参加 することで専門員の資質向上を図り、柔軟な対応ができる専門員の質 の向上を図る。		
	実績	※件数等については実績資料（12）		
	効果 課題	今年度も成年後見人材育成研修を修了した職員がおり、 職務の質の向上に積極的に取り組んでいる。また、外部研 修に積極的に参加したこと、他県や市町村での動きを見 ることができ、今後の事業展開に向け知識を深めることが 出来た。 利用者支援も、安定したサービスの提供ができ ており、親族後見のサポートなども継続して行えている。 運営審査委員会も4回開催できており、受任件数も増えて きている。	評価	AA

2. 困難を抱えた市民への支援

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名		内 容	
法外援護給付金	目的	宮古島市に居住する緊急かつ一時に生活援助を必要とする生活困窮者 (世帯)に対して、当面の生活維持を図る。	
	内容	1回に限り商品券を支給する。	
	実績	申請数8件、給付4件、却下4件	
	効果 課題	緊急的な支援が必要な際の「食費」を中心に考え商品券 で対応しているが、相談の際にはサービスを受けるために 必要な費用や、通院費用等が捻出できない状況が見られ た。今後は適用の範囲を柔軟にできるよう検討したい。	評価 A
子育て応援事業	目的	生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭へ子育てに必要な情報提供を行 い、関係機関との繋がりを持たせ、子育てへの不安を少なくする。	
	内容	生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭へ子育てに必要な情報提供やを 行い、関係機関との繋がりを持たせる目的とし、その一環として児童 委員や母子推進員と連携し年度1回に限りオムツを支給する。	
	実績	・ 平良地区 201 世帯 ・ 城辺地区 11 世帯 ・ 上野下地地区 16 世帯 ・ 伊良部地区 22 世帯 ・ 困窮世帯 98 回 (27世帯)	
	効果 課題	課題として、世界情勢の変化による物価上昇の影響で困 窮世帯の増加が見られるため、今後もCSWなどの関係機関 と連携し応援を継続。	評価 A

事業名		内 容	
地域歳末たすけあい配分金事業	目的	生活困窮世帯や高齢者世帯、社会的ハンデを抱える世帯等が、明るい新年を迎えるよう義援金を配布する。	
	内容	生活困窮者世帯や高齢者世帯等を対象として10月～11月頃に民生委員へ調査協力を依頼し、配分委員会を経て該当世帯へ12月末に歳末たすけあい義援金配分金を支給する。義援金は当年度12月より募金を集め当年度中に配分する。	
	実績	※利用状況等については実績資料（13）	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員の見守り活動の一環となり、担当地区の状況把握へのきっかけにもなった。 ・ 義援金の活用によって、配布世帯がより良い年末を過ごせたとの声をいただけた。 ・ 対象世帯の抽出方法について、CSWや地域福祉活動コーディネーターとの意見交換を図る。 	評価 A
母子会交流会	目的	宮古島市内のひとり親世帯相互の情報交換や交流を深める。	
	内容	宮古島市母子寡婦福祉協会とクリスマス交流会を共催。	
	実績	母と子の集いクリスマス会の実施。 クリスマス会への一部費用負担。 参加者：会長、地域福祉課長、地域福祉係1名	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段見慣れない音楽演奏やサンタクロースの登場等により、親子で楽しむ様子が見られた。 ・ 費用一部負担により盛大なクリスマスプレゼントを用意する事ができ、今後の関係強化にも期待が持てる。 	評価 A
フードバンク『んまんま』事業	目的	生活困窮世帯の自立支援	
	内容	地域の人から食料の寄付を受け、生活が困窮している人へ提供する。 担当は地域福祉係及び宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業担当者。	
	実績	<p>※利用状況等については実績資料（14）</p> <p>① フードバンク活動 12,804 品目の提供 ② フードバンク活動のさらなる周知と拡充・フードボックスの増設（3箇所増）メディアへの出演（みやこTVおひるまえ・みんなの広報室）や公式SNSを活用し幅広く市内外へ情報発信、利用世帯を増やす。 ③ SDGsの周知（宮古島市内の小・中学校6校への福祉講話の実施・SDGSとのフードバンクの関係を説明）。 ④ 宮古島市青年会議所へ地域の貧困問題とフードバンクの活用法の説明会を実施。 ⑤ フードロス月間に向けて宮古島市役所へフードドライブの依頼。 ⑥ 農林水産省主催/食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会沖縄ブロック意見交換会への参加・フードバンク『んまんま』の状況報告、意見陳述、意見交換を行った。 ⑦ 宮古島市産業振興局産業振興課へ地産地省×フード（フードロス削減に向けた取組）についての説明会を開催。 ⑧ 企業団体によるフードバンクへの食品寄贈。（43回）</p>	
	効果 課題	<p>①上記『フードバンクんまんま活動』報告と同じ</p> <p>学校からの依頼に基づき小・中6校へSDGSとフードバンクの関わりを説明し福祉教育への感心を高めた。 フードバンク活動の取り組みは、地域の中での支え合いの活動を広げるために重要で、まだ食べられる食品を無駄にせず、必要な人々に提供することで、社会的なサポートが必須である、地域福祉活動や地域づくり活動をしていく中で、一人ひとりが食料の無償提供に留まらず、その先の支援にどうつなげていくかを考える必要がある、フードバンクを生活相談や社会保障への入口として位置づけることが重要で、生活困窮者のみに対する一時的な食料支援ではなく、利用者が最終的に自立することが大切あると考える。</p>	評価 AA

事業名 相談対応職員等 スキルアップ研修	内 容		
	目的	相談対応職員等のスキルアップを図るため、研修などに参加させ、困難を抱えた市民への対応力を強化し心の健康づくりを推進する。	
	実施時期	自主的な研修と外部研修への参加を推進し経費を負担する。	
	実績	※研修実施状況については研修実績参照	
	効果 課題	昨今の複雑化する相談等へ対応するため、研修参加による職員の資質向上は必須であると考える。Zoom開催の研修も含め、予算の範囲内ではあるが、今後も積極的に研修参加を行っていきたい。また、慢性的な職員不足を考え、本年度から現在従事している職員の新たな資格取得にも法人として積極的にサポートしている状況である。職員確保の面も含め、今後も現体制を引き継続していく。	評価 A
受託事業			
事業名 宮古島市地域における生活困窮者支援等のための地域づくり事業（宮古島市より受託）	事業名	内 容	
	目的	年齢や性別、置かれている生活環境などにかかわらず、地域において誰もが安心して生活を維持できるよう地域住民による共助の活性化を図ることと生活困窮者を始め、支援が必要な人と地域とのつながりを作り、これらを地域全体で支える基盤を構築し、地域福祉を推進させる。	
	詳細	① 市民講習会の実施（月1の開催） メディアや公民館・地元住民の集まる場所などへ周知依頼をし、宮古島市民に呼び掛けを行った。毎年テーマを決め趣旨に沿った講師に講話依頼。 ② 世代間交流の場 子どもから親世代・高齢者・単身者まで、枠を作らず、誰でも安心安全に集まる居場所づくりを企画開催。 ③ 困窮者個人支援 個人支援を通して困窮者のニーズと地域との関わりあいなどの把握に努める。フード利用しながら生活基盤を整え、就労支援等や各機関への相談に同行し相談者に寄り添う。	
	実績	※件数等については参考資料 ① 市民講習会 12回開催 ② 世代間交流の場 2回開催 ③ 困窮者個人支援 延べ56件	
	効果 課題	① 市民講習会 周知に努めた効果で、参加者が増えた。 ② 世代間交流の場 2回の開催だが次年度の構築に向けて準備することが出来た。定期的開催が課題となる。宮古5圏内にて開催予定。 ③ 困窮者個人支援 フード利用をせず生活できるよう支援。少数だがフード利用卒業の方がいた。	評価 A

事業名		内 容	
生活福祉資金貸付事務（沖縄県社会福祉協議会より受託）	目的	低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度。それぞれの世帯の状況と必要に合わせた資金の貸付申請の相談受付を行う。	
	詳細	(1) 福祉資金・緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金・不動産担保型生活資金 (2) 臨時特例つなぎ資金 (3) 特例貸付	
	実績	※件数等については実績資料（16）	
	効果課題	本則貸付では、今回初めて社協独自の償還指導を実施したこと、長期間償還の滞っていた借受人等の世帯に対して、一定の成果を上げることができ、適切な償還業務を行うことができたと考える。特例貸付においては、R5年1月から一部資金の償還が開始されたが、未だに生活が不安定で困窮状態に陥っている世帯は数多くみられ、それに伴い本則貸付の相談件数も増加しているのが現状である。そのなかで、特例借受人のフォローアップ支援として、猶予申請者に対する見守り支援の実施により、多くの猶予者の生活安定に繋がったが、本則、特例含めて、未だ多くの滞納者や困窮世帯がおり、貸付、償還業務としてではなく、総合的な相談窓口として、必要に応じて他の機関と共有を図り対応していくことが必要である。	評価
事業名		内 容	
高齢者見守り事業（訪問介護事業、小規模多機能型居宅介護事業）	目的	高齢者の緊急事態や不安を解消し、日常生活の安全を確保し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援し、高齢者が安心して暮らす事のできるサービス提供体制を構築することを目的とする。	
	詳細	宮古島市よりの受託を受け介護保険対象外サービス提供支援を行う。 ①緊急時随時対応サービス ②定期訪問サービス	
	実績	※件数等については実績資料（30）	
	効果課題	24時間対応なので、緊急事態時対応できる職員の確保が難しい状況。高齢者支援課と相談して月1回の点検と、緊急事態時の対応の体制を見直していく必要がある。	評価
くらしのサポート事業（自主事業）	目的	介護保険、障害者総合支援事業等のメニューでは行えない内容のサービスを行い、在宅生活が円滑に過ごせるようにする。	
	詳細	宮古島市社会福祉協議会独自で実施。 宮古島市社協指定訪問介護事業所しゃきょう（上野老人福祉センター内）	
	実績	※件数等については実績資料（17）	
	効果課題	介護保険サービスや障害者総合支援サービスで対応できない利用者に対して必要な支援を行っているが、ヘルパー不足の為、既存利用者のみの対応しかできず、利用件数は増加しているが、新規利用者の受け入れは難しい状況。	評価
緊急医療情報キット配布事業（共同募・福祉育成援助活動事業）	目的	健康上不安を抱える高齢者及び障がい者等に対し、体調悪化により救急救命が必要となった際、救急隊員など対応する者が本人の情報（持病・服薬状況・かかりつけ医療機関・緊急連絡先等）を迅速に把握し、適切な処置対応ができるように備えておくことを目的とする。	
	詳細	本人の情報の記載されたシートや服薬情報提供書、保険証写し等、緊急時に迅速に提供が望まれる書類等を事前に準備し、情報キットボトルに入れ冷蔵庫内で保管する。キットについても広く周知活動を行い普及を図る。	
	実績	未実施	
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との諸調整、情報キットの選定など詳細の準備が整わず未実施となっている。 ・ 他業務による人員調整及び業務量のバランス確保が難しく、準備に余裕が持てなかった。 ・ 新事業である為、改めて内容の見直しが必要。 <p>次年度以降実施に向けての準備を検討。</p>	評価

3. 福祉活動の拠点整備

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
宮古島市総合福祉センター設置に向けた取り組み	目的	宮古島市社会福祉協議会やボランティア団体、当事者団体等の活動拠点の中心的施設と中福祉圏域拠点の施設整備を図り、福祉活動の円滑な推進を図る。	
	詳細	宮古島市と協働し、宮古島市社会福祉協議会や当事者団体、市民が利用しやすい場所にするため、計画の段階からの参画が出来るよう要請行動と早期設置を要望する。	
	実績	会長・副会長が7月12日に宮古島市役所を表敬訪問する際、総合福祉センター建設要請を行った。	
	効果 課題	各福祉団体が連携して福祉活動を行うことが出来る拠点として、今後も要請を継続していく必要がある。	評価 A
受託事業	内 容		
宮古島市生活支援体制整備事業	目的	高齢者の多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図っていく事を目的に実施。	
	詳細	地域に出かけ、具体的なニーズの収集、社会資源等のマップ化、協議体の設置、新たな生活支援サービスの検討など、介護保険に頼らずに生活を続けられる地域づくりを目指す。 ①高齢者の生活ニーズの収集 ②社会資源等の把握とマッチング ③住民同士で考える協議体の設置 ④新たな生活支援サービス等の検討などを行い、【介護保険に頼らない暮らし方】、【最後まで暮らし続けられる地域】を目指して取り組んでいく。	
	実績	○活動区分：訪問247件、来所6件、電話7件、会議75件、広報3件、協議体4件 その他37件 合計379件 ○活動内容：社会資源の把握36件、対象者の把握と支援へのつなぎ8件、生活状況やニーズの把握と整理26件、支援や支え合い等とのマッチング6件、地域関係者との関係づくり158件、関係者との協議・協働4件、行政との連絡・連携14件、協議体・SC会議への参加63件、ケア会議17件、その他15件 合計358件	
	効果 課題	活動区分、活動内容ともに前年度と比較し増加しており、本事業と地域、各種関係機関との連携強化が図られていることが見て取れる。また、2月にはお宝発表会を実施し、関係機関への更なる周知を図ることができた。宮古島市全域において本事業による取り組みが浸透するよう、今後も一つ一つ丁寧な活動を継続する必要がある。	評価 A
宮古島市地域介護予防活動支援事業	目的	高齢者が誰でも参加できる住民主体の通いの場の充実と生きがいづくりを目的とし、併せて介護予防活動のボランティア人材育成及び地域へのアウトリーチ、広報等を通した介護予防活動を行う。	
	詳細	心身の機能低下の予防・向上を図る観点から、利用者の状況・ニーズに応じて、介護予防・利用者同士の交流・レクレーションなどを行う。 もりをもつ筋力体操であるいきいき百歳体操も通いの場に含む。 ①通いの場事業/月2回（基本） 通いの場へのボランティアへの支援（毎月） ②いきいき百歳体操…週1回（基本）※場の状況に応じて回数増可能 いきいき百歳体操ボランティアへの支援（毎月） ③生活支援の担い手に係る企画 既存の通いの場、いきいき百歳体操支援ボランティア支援（毎月） ボランティア養成講座や通いの場・いきいき百歳体操新聞発行等、研修及び情報発信。	
	実績	※件数等については実績資料（18）	
	効果 課題	通常通りの開催になり、参加人数も増えてきた。メディアや社協ホームページを活用し、知ってもらう機会が増えた。専門職派遣（理学療法士派遣、認知症、口腔ケア、栄養等）、企業、他機関と連携（チョイソコ、終活、健康講話等）。体操のマンネリ化防止のため短い体操の動画等活用する。通いの場が新しく立ち上がる一方、後任のボランティア不足が課題。	評価 A

事業名		内 容	
宮古島市指定管理者運営事業 (宮古島市より指定)	目的	社会福祉センター、老人福祉センターの維持管理等。	
	詳細	老人福祉センター（平良、伊良部、下地上野）及び社会福祉センターの運営を行う。	
	実績	<p>※件数等については実績資料（19）</p> <p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、活動制限も緩和され利用実績は安定している。民生委員、老人クラブ等各団体の利用は順調に推移し、サービスは確保できている。利用人数は令和4年度と比較し約7割増となり大幅に増加している。</p>	
	効果 課題	長寿大学、生きいき教室、ワイド一教室等、高齢者活動に幅広く利用され、老人クラブの会議等もこれまで通り行われており、地域の高齢者活動支援の拠点となっている。	評価 AA

IV、自主財源確保と組織体制強化に向けた取り組み

1. 自主財源確保に向けた取り組み

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名		内 容	
令和5年度社協一般会員会費説明会	目的	自主財源確保と社協活動の説明を行い理解を深めてもらう。	
	詳細	行政連絡員、自治会長を対象に社協会員会費説明会及び戸別会費徴収依頼。（5地区にて順次開催）	
	実績	<p>※戸別会費実績資料（20）</p> <p>・5/28（日）10時～平良地区（28名参加）・5/29（月）10時～城辺地区（17名参加）・5/29（月）14時～上野地区（4名参加）・5/30（火）14時～下地地区（6名参加）・5/31（水）10時～伊良部地区（2名参加）</p>	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 説明会を行うことで会費についてだけでなく、社協が実施している事業についても説明が行えた。 会費の集金方法への提案（チラシ作成）や、各自治会長の特徴等、様々な意見交換ができた。 各地区により参加者にバラつきがある為、時間や曜日について、例年試行錯誤してきたが、特段変化無し。 各地区により行政連絡員の任期がある為、新任対象にする等の工夫が必要。 	評価 A
令和5年度社協会員募集	目的	自主財源確保と社協活動の説明を行い理解を深めてもらう。	
	詳細	市内の業者・会社・官公庁・民間事業所・各団体へ会員会費の募集を行う。	
	実績	※実績資料（20）	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 戸別会費は行政連絡員を招集し説明会を開催し協力と理解を求め、意見交換も行えた。 賛助会費及び団体会費の依頼は文書送付のみであるが、特別会費では訪問依頼を実施し、啓発活動にもなった。 しかし未だに社協活動の周知が不十分で、社協会費の協力を仰ぐためにもより一層の周知活動が必要である。 	評価 A
赤い羽根共同募金説明会	目的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保を行い社協活動への理解を深めてもらう。	
	詳細	自治会、職場等を対象に募金の趣旨説明を行い募金の協力依頼をする。	
	実績	<p>※戸別募金実績資料（21）</p> <p>・9/20（水）14時～平良地区（34名参加）・9/21（木）10時～下地地区（3名参加）・9/21（木）14時～城辺地区（19名参加）・9/22（金）10時～上野地区（6名参加）・9/22（金）14時～伊良部地区（2名参加）</p>	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政連絡員へ共同募金の目的や法的根拠、計画募金である意味、配分方法やその使途を丁寧に説明することで、代理で戸別募金を集める行政連絡員への理解を得られることができている。 社協会費説明会同様、多くの参加者が集うよう日程調整を行っているが参加者の増には至っていない。 	評価 A

事業名		内 容		
赤い羽根共同募金依頼	目的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保を行い社協活動への理解を深めてもらう。	評価	A
	詳細	宮古島市内外の業者・会社・官公庁・民間事業所・各団体へ赤い羽根共同募金（職域募金・法人募金・団体募金）への協力依頼。		
	実績	※実績資料（21）		
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化に伴い、共同募金の担う役割や必要性を改めて伝える事で理解を得られている。 ・依頼時の繋がりにより、フードバンク事業協力や、職員間の事業調整等が図られている。 ・逆も然りで、他事業からの繋がりにより、法人募金の新規依頼を行う事で法人募金額が増額となった。 ・コロナ禍が開け、各事業の再開が伺えたが、物価高騰の煽りからか戸別募金及び職域募金の増額は達成できず。 		
赤い羽根共同募金街頭募金	目的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保、思いやりの心助け合いの心を育てる。	評価	A
	詳細	学生ボランティアへ依頼し店舗前で募金活動。市内の商業施設店舗前にて学生ボランティアを中心に実施する。		
	実績	※街頭募金額実績（21） 赤い羽根街頭募金4回、歳末助け合い街頭募金1回		
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・CDにて広報を行い、寄付者への赤い羽根配布等から赤い羽根共同募金の周知活動に繋がる。 ・学生ボランティアとの協働により、ボランティア意識の向上に繋がる。 ・民生委員との協働により、民児協活動の周知に繋がる。 ・ボランティアとの事前調整及び職員間の協力依頼に対し、時間的余裕が必要。 		
地域歳末助け合い運動	目的	宮古島市市内の業者・会社・官公庁へ歳末職域募金として協力依頼。	評価	A
	詳細	宮古島市市内の業者・会社・官公庁へ歳末職域募金として協力依頼。		
	実績	※実績資料（22）		
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼により、歳末助け合い義援金の役割及び必要性を伝え、理解を得られている。 ・街頭募金活動により、学校及び市民への周知に繋がる。 ・事業名や役割の周知は得られているが、対象者リストアップから、配分委員会を経て配分となるまでの細部が伝わりづらく、市民からの直接的問い合わせや、行政からの配布者追加の依頼がある。 		
歳末チャリティーイベント	目的	多くの義援金の協力を得ることにより、生活に困窮する世帯が明るいお正月を迎えるようにする。	評価	C
	詳細	例年は伊良部地区で開催、イベントはグラウンドゴルフ大会。		
	実績	未実施		
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人員確保と業務量のバランスが図れず、未実施となつた。 ・担当配置及び計画について再確認が必要。 		
チャリティーバザー	目的	家庭内の不用品を持ち寄り販売し資源のリサイクルと自主財源の確保を行う。	評価	A
	詳細	役職員へ呼びかけ、家庭内で不要になったものをチャリティーバザーで販売し自主財源の確保を行う。		
	実績	※実績資料（21）内、災害義援金イベント募金参照 ・平良老人福祉センター内にて実施 令和6年1月28日		
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞による呼びかけを行い、多くの市民に来場頂いた。 ・実績額より、能登半島災害義援金へ協力できた。 ・準備期間の余裕を増やし、更なる広報活動が必要。 		

事業名		内 容	
福祉資金造成芸能チャリティー公演	目的	宮古島市内外で活躍している芸能家有志及び福祉資金造成の趣旨に賛同される方々の御協力を得て、より充実した福祉事業の推進と、多様な福祉ニーズへの対応を図っていくことを目的に開催する。	
	詳細	宮古島市で活動する芸能団体へ参加を依頼し芸能チャリティー公演を開催。	
	実績	未実施	
	効果 課題	・人員確保と業務量のバランスが図れず、未実施となつた。 ・担当配置及び計画について再確認が必要。	評価 C

介護保険関連事業

事業名		内 容	
訪問介護事業	目的	自宅において身体の清潔保持、身の回りの清潔保持、食事介助等の支援により在宅生活の継続。	
	詳細	介護福祉士やホームヘルパーが自宅に赴き、入浴、排泄、食事等の介護、掃除、洗濯、調理等の援助、通院時の外出移動サポート等の日常生活上のお世話をを行う。	
	実績	※件数等については実績資料（23）	
	効果 課題	訪問介護事業所の閉鎖が多くあり、また伊良部地区においては、徳洲会病院の閉鎖もあり、平良・城辺・伊良部地区の新規依頼があるが、ヘルパーの高齢化（サービス低下）・人員不足等で、新規の受け入れが難しい状況です。新規利用者を受け入れできるよう人材確保に努めたい。管理者等の人材育成が喫緊の課題としてあげられる。	評価 B
事業名		内 容	
通所介護事業		家族介護負担の軽減、バランスの取れた食事、入浴、日常生活訓練、健康チェック等で在宅生活の維持を図る。	
	詳細	要介護状態にある高齢者がデイサービスセンターへ通い、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練を日帰りで行う。	
	実績	※件数等については実績資料（24）	
	効果 課題	令和5年度は利用件数は微増となっており、収入は増加傾向である。総合事業及び要支援の利用数が減少し要介護利用者の増え見られ、特に要介護1及び3の利用回数増えた。支出については人件費及び事業費とともに節減効果が見られ、前年に比べ減額している。ただ収支のバランス改善は課題として残り今後も継続して取り組んでいきたい。	評価 A
小規模多機能型居宅介護事業	目的	介護を必要とされている人が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、柔軟な対応を行う。 施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、日常生活上の支援や機能訓練を行う。 小規模多機能型居宅介護事業所きやーぎ（城辺地区）城辺字長間 小規模多機能型居宅介護事業所たかやま（下地上野地区）上野字新里	
	詳細	事業所がある地域の高齢者を対象とする。 小規模多機能型居宅介護事業所に配置されているケアマネージャーがケアプランの作成する。 登録定員はきやーぎ29名、たかやま25名となっている。	
	実績	※件数等については実績資料（25）	
	効果 課題	たかやま/1年を通して利用数が低迷したが、後半から徐々に伸びてきている。運営推進会議では意見を多くいただいており、地域貢献やサービス改善につながっている。次年度は運営推進会議において事例検討も行っていきたい。 きやーぎ/利用回数は横ばいとなっており、相談はあるものの新規利用には至らず。運営推進会議は6回開催し、地域住民の意見を取り入れることが出来た。職員数は基準を満たしているものの、職員の高齢化が進んでおり、エイジフレンドリーガイドラインにそって器具をそろえる等労働環境の改善に努めた。	評価 A

事業名		内 容		
障害者総合支援事業	目的	障がい者総合支援法に基づき障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、障害福祉サービスの実施。		
	詳細	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、障害福祉サービス ①居宅介護（食事や入浴、トイレなどの介助） ②生活介護（日常的な介護や見守り、生活支援などを必要としている方（原則として障害支援区分「3」以上であること）に対して、日中の介護、介助や見守り支援を行うほか、創作的活動や生産活動、地域との交流活動などを支援） ③重度障害者等包括支援（最重度の障害（原則として障害支援区分が最重度の「6」であること）があり、当時の介護を必要としている方に対して、居宅介護や短期入所、生活介護など複数の介護サービスを組み合わせて支援） ④同行援護（視覚障害により自力での移動が難しい方に対して外出時の支援）		
	実績	※件数等については実績資料（26）		
	効果課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 新規の受け入れがあるが、職員の高齢化と人員不足により十分な対応ができない。 管理者等の人材育成と良質な人材確保が課題としてあげられる。	評価	A
事業名		内 容		
一般旅客自動車運送事業	目的	通院時の乗降介助や移動困難な方の外出が実施できるよう法令に基づき実施。		
	詳細	道路運送法により移動支援、病院への送迎等のサービスを実施するために当事業実施が必須となっている。 道路運送法第78条第2号に定める乗車定員1人未満の自動車で、運行時に寝台及び車椅子を固定することのできる設備を有する特殊用途自動車で旅客運送事業を行う。		
	実績	※件数等については実績資料（27）		
	効果課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 介護タクシーは人員不足により十分な対応ができない。 管理者等の人材育成と良質な人材確保が課題としてあげられる。	評価	B
事業名		内 容		
移動支援事業 (宮古島市より受託)	目的	外出のための支援を行う事により地域における自立生活及び社会参加の促進を図る事を目的に実施。		
	詳細	屋外での移動が困難な障がい者等に対して、車両での送迎、介助者による付き添い等外出のための支援を行う。		
	実績	※件数等については実績資料（28）		
	効果課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 現在利用している利用者については、可能な限り対応できているが、新規については十分な対応が難しい。 管理者等の人材育成と良質な人材確保が課題としてあげられる。	評価	B

2. 組織体制強化に向けた取り組み

共同募金、会費等自主財源、補助金充当事業

事業名	内 容		
評議員会	目的	事業計画・資金収支予算の審議、事業報告・決算報告の審議、定款及び各種規程等の改正、新設に伴う審議、その他評議員会で審議が適当と認められる事項の審議。	
	詳細	年3回開催	
	実績	※件数等については実績資料（33）	
	課題 効果	令和4年度事業報告及び決算、令和6年度事業計画及び予算の審議が行われた。	評価 AA
理事会	目的	事業計画・資金収支予算の審議、事業報告・決算報告の審議、定款及び各種規程等の改正、新設に伴う審議、その他理事会で審議が適当と認められる事項の審議。	
	詳細	年4回開催	
	実績	※件数等については実績資料（34）	
	課題 効果	規程の改正や制定、令和4年度事業報告及び決算、令和6年度事業計画及び予算の審議が行われた。	評価 AA
役員会	目的	会長、副会長、事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による事業実施に関するさまざまな協議。必要に応じ担当職員を招集。	
	詳細	月に2回程度開。	
	実績	令和5年度は合計24回開催。	
	課題 効果	課長会議で検討された事項の報告や法人内の重要な案件などが協議され、方針等の確認がされるとともに内部統制に重要な役割を果たしている。	評価 AA
課長会	目的	事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による事業実施に関するさまざまな協議。必要に応じ担当職員を招集。	
	詳細	月に2回～3回程度開催。	
	実績	令和5年度は25回開催。	
	課題 効果	各課の事業運営に関する細かな状況報告や課題検討等が行われ、事務局長を含む課長間の共通認識が維持できており、連携が図られている。	評価 AA
事業専門部会議	目的	各事業ごとに事業推進に関し必要な事項を協議。	
	詳細	各事業において隨時開催。	
	実績	各課、各事業において専門職会議等定期的に開催。	
	課題 効果	専門的立場における情報共有や各種課題解決に向けた協議がなされ、各分野におけるサービスの質の向上につながっている。	評価 A
決算監査	目的	監事による令和4年度事業報告及び決算報告を監査。	
	詳細	監事二人による監査、一人は会計業務に関する監査、一人は事業内容による監査。	
	実績	令和5年5月に監査委員2名による決算監査を実施。事業報告、会計書類等の監査が無事行われた。	
	効果 課題	決算監査により事業運営や経営等が規律に則り適正に実施されていることが確認された。	評価 AA

事業名		内 容	
第三者委員会	目的	宮古島市社会福祉協議会の実施する事業への苦情へ適切に対処するため設置。	
	詳細	第三者委員（2名）会長、副会長、事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による苦情受付状況報告及び解決に向けた会議。	
	実績	未実施	
	効果 課題	第三者委員が令和6年3月理事会で再任された。	評価 C
職員研修	目的	社会福祉協議会事業、リスク管理、各種制度等について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。	
	詳細	①全職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。 ②各課において所属課の事業への理解を深めるとともに、事業相互の連携を図る。	
	実績	※研修実績	
	効果 課題	交通安全研修については、すべての職員が受講できるように3回に分けて実施。加えて、メンタルヘルス研修を実施し労働安全衛生に関する研修も充実している。また、管理職向けの研修会を実施。各階層においてスキルアップを図っている。	評価 AA
新任職員研修	目的	新任職員のスキルアップを図る。	
	詳細	雇用3年以内の職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業についての基礎知識を学ぶ。	
	実績	7月に開催し、9名の職員が参加。社会福祉協議会の概要、事業内容、財務等について講義を行った。	
	効果 課題	社会福祉協議会で実施する事業や業務に従事するうえでの基本的な知識技術を学ぶことが出来た。アンケートでは社協の概要、財務、事業内容が分かり今後に役立てることができた等の意見があった。今後もアンケート結果を元に充実させていく。	評価 AA
事業課職員研修	目的	事業課所属の各部署を対象に研修を行い、職員のスキルアップ、自分たちが働いている社協への理解、災害時対応、緊急時の対応、交通事故とにあった時の対応などを学んでいく。	
	詳細	① 全職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。 ② 各課において所属課の事業への理解を深めるとともに、事業相互の連携を図る。	
	実績	※研修実績	
	効果 課題	年間12回の研修を開催できなかつたが、各事業における法定研修を実施。 それぞれの事業の業務の都合上、同日での開催が困難なため書面研修を行いながら、より理解が進むよう各事業のミーティングを活用した研修を実施。	評価 A

事業名		内 容	
事業課各部署 ミーティング	目的	事業課の各部署において事業課長、事業管理者（又は代表者）、職員が一堂に会し、各事業所の基本方針、当該月の計画等を話し合い統一した意識のもとサービスが実施できるよう行う。	
	詳細	事業課各部署にて1～3ヵ月に1回ミーティングを行う。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	職員との意見交換を行うことで職員の思いや要望を聞くことが出来た他、事業の収支状況を説明し職員に対し、コスト意識や自身の行う事業についての状況の理解をすすめた。	評価 A

実績資料

(1) 宮古島市長寿大学開設運営事業【宮古島市】(延べ人数)

講座・地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
三線 平良・老福			31	25	40	42	14	37	30	19	41		279
大正琴 平良・老福			21	26	12	26	24	20	21	32	21		203
舞踊(日舞) 平良・老福			15	25	25	34	0	30	14	18	0		161
歌と発声 平良・未来創造			39	47	20	56	53	36	48	70	38		407
フラダンス 平良・ゆいみなあ			17	11	15	17	25	20	22	23	16		166
詩吟 平良・ゆいみなあ			14	10	9	8	12	12	11	10	8		94
ヨガ 平良・下崎			45	58	41	49	66	60	65	57	19		460
舞踊(琉舞) 平良・久松			31	30	24	27	42	44	28	36	33		295
舞踊(琉舞) 平良・西原			41	28	16	22	23	32	18	34	15		229
舞踊(日舞) 平良・池間			10	11	6	9	0	26	12	12	7		93
大正琴 伊良部・老福			14	17	0	18	10	18	15	16	12		120
三線 伊良部・老福			11	6	7	11	7	12	12	9	4		79
舞踊(日舞) 伊良部・老福			0	22	4	21	13	13	16	12	2		103
三線 城辺・社福			9	16	4	10	17	14	12	6	0		88
大正琴 城辺・社福			6	5	6	6	9	9	9	9	6		65
クラフト 城辺公民館			15	22	18	32	25	37	14	15	8		186
舞踊(日舞) 上野・老福			5	2	3	21	17	18	17	21	13		117
大正琴 上野・老福			10	10	8	10	9	19	17	18	12		113
三線 上野・老福			10	10	8	9	14	12	12	13	10		98
合 計	0	0	344	381	266	428	380	469	393	430	265	0	3,356

令和4年度総利用人数	2,445人	令和5年度総利用人数	3,356人	前年比	137.26%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

(2) ボランティア依頼等

内 容	開 催 日	派 遣 ボランティア	人 数
24時間テレビチャリティー街頭募金	令和5年8月27日	宮古高校5名・狩俣中1名	6名
赤い羽根共同募金街頭募金	令和5年10月1日	宮古島市民児協(各単位)	20名
赤い羽根共同募金イベント募金	令和5年10月21日	上野中	1名
第16回宮古地区障がい者スポーツ大会	令和5年11月3日	鏡原中・下地中・久松中・上野中・伊良部島中・北中・平良中・狩俣中・多良間中・宮古総合実業高校	71名
第20回ふれあいおはなしフェスティバル	令和5年11月19日	宮古総合実業高校	6名
赤い羽根共同募金街頭募金	令和5年12月1日	北中	18名
歳末たすけあい街頭募金	令和5年12月9日	城東中・下地中・北中・平良中	42名
赤い羽根共同募金街頭募金	令和5年12月16日	宮古高校・狩俣中・西辺中・伊良部中	28名
トータルビューティー＆生活支援等相談会	令和5年12月24日	宮古総合実業高校	10名
令和5年度宮古島市身体障害者レクリエーション大会	令和6年3月9日	宮古総合実業高校	4名

令和4年度総件数	2件	令和5年度総件数	10件	前年比	500.00%
----------	----	----------	-----	-----	---------

ボランティア保険申込受付

保険名	件数	保険名	件数
ボランティア活動保険	10件	ボランティア行事保険	39件
福祉サービス総合補償	2件	送迎サービス補償	4件

令和4年度総件数	50件	令和5年度総件数	55件	前年比	110.00%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

ボランティア保険申込受付

保険名	件数	保険名	件数
ボランティア活動保険	10件	ボランティア行事保険	39件
福祉サービス総合補償	2件	送迎サービス補償	4件

令和4年度総件数	50件	令和5年度総件数	55件	前年比	110.00%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

ボランティア登録件数 ※令和5年度より記載

個人ボランティア		団体ボランティア				総件数			
令和4年度		令和4年度				10件			
令和5年度		令和5年度				22件			
前年比		前年比				220.00%			

ボランティア問い合わせ件数 ※令和5年度より記載

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	4件	3件	16件	15件	1件	2件	4件	4件	5件	6件	7件	8件	75件
電話	4件	4件	7件	6件	7件	1件	14件	4件	4件	6件	4件	9件	70件
その他	0件	0件	2件	0件	0件	3件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	7件
合計	8件	7件	25件	21件	8件	6件	18件	9件	10件	12件	11件	17件	152件

ボランティア問い合わせ内容 ※令和5年度より記載

種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保険について	7件	1件	4件	4件	2件	4件	4件	2件	5件	6件	10件	14件	63件
活動について	1件	4件	9件	0件	5件	0件	14件	3件	2件	2件	0件	0件	40件
受け入れについて	0件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	2件	0件	0件	2件	6件
助成金について	0件	2件	11件	17件	1件	1件	0件	4件	1件	4件	1件	1件	43件
合計	8件	7件	25件	21件	8件	6件	18件	9件	10件	12件	11件	17件	152件

(3) ふれあい生きいきサロン 域福祉活動事業、共同募金配分事業（高齢者サロン）

No	サロ ン 名
1	ぶからすサロン
2	向日葵の会
3	たんぽぽ
4	とびとりサロン
5	たんぽぽの会
6	池間みやらび
7	東部サロン
8	ローズサロンの会

No	サロ ン 名
9	富名腰までいたサロン
10	野越サロン
11	すなかぎサロン
12	ユクダキサロン
13	歌声喫茶
14	あじさい
15	はだしの会
16	タウヤマ

No	サロ ン 名
17	いずみサロン
18	サバウツ
19	さつきサロン
20	長間パニパニ女子会

上記以外でも地域福祉計画推進事業、生活支援体制整備事業、介護予防普及啓発事業と連携し実施

令和4年度総件数	22件	令和5年度総件数	20件	前年比	90.91%
----------	-----	----------	-----	-----	--------

(4) 宮古島市地域福祉計画推進事業【宮古島市】

◇相談延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数(実数)	114	123	102	117	115	136	137	133	138	115	108	113	1,451
相談件数(延べ件数)	371	454	397	499	581	581	564	603	684	660	579	488	6,461

令和4年度総件数	1,338件	令和5年度総件数	1,451人	前年比	108.45%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

◇地域福祉懇談会開催状況

日付	会場	参加人数	備考
2024年6月8日	伊良部老人福祉センター	24名	老人クラブ伊良部支部理事会を対象に伊良部地区の高齢化の状況と小地域ネットワークの必要性について説明
2023年7月5日	皆福公民館	8名	台風対策・見守りについて
2023年9月28日	新城公民館	7名	地域活動について、住民・民生委員・CSWの役割を協議
2024年1月10日	新城公民館	5名	ひきこもりがちな高齢者の社会参加について
2024年1月11日	吉野公民館	13名	問題行動のある住民の対応について

令和4年度総件数	5件	令和5年度総件数	5件	前年比	100.00%
----------	----	----------	----	-----	---------

◇小地域ネットワーク協力員会議開催状況

開催地区	開催回数	参加人数(延べ)	開催地区	開催回数	参加人数(延べ)
上地地区	4回	18名	吉野地区	2回	17名
高野地区	3回	56名	福西地区	1回	5名
新城地区	4回	31名	宮原地区	1回	8名
新城公民館	1回	15名	仲保屋地区	1回	9名
川満地区	2回	15名	与那覇地区	3回	10名
大原3区地区	2回	8名	保良地区	2回	8名
皆福地区	2回	12名	県営南団地	1回	6名
東川根2区地区	1回	4名	友利地区	1回	5名
砂川地区	1回	6名	宮国地区	1回	4名
来間地区	1回	4名	福山地区	2回	28名
長間地区	1回	4名	長中地区	1回	5名
池間地区	1回	6名	福嶺地区	1回	30名
久松地区	1回	6名			

令和4年度総件数	48件	令和5年度総件数	41件	前年比	85.42%
----------	-----	----------	-----	-----	--------

◇その他の事業及び研修会等参加状況

日本語教室開催（毎週水曜日）

宮古島在外国人出身者を対象に年間43回開催。検定試験チャレンジ※コロナ禍でのリモート実施含む

令和4年度総件数	50件	令和5年度総件数	43件	前年比	86.00%
----------	-----	----------	-----	-----	--------

(5)自治会サポート助成事業

月日	申請自治会名	内容	参加人数
令和5年6月18日	西中自治会（城辺）	世代間交流グラウンドゴルフ・バスケット大会	30名
令和5年7月16日	川満団地自治会（下地）	自治会夏祭り前清掃事業	30名
令和5年7月23日	西西自治会（城辺）	西西自治会父母交流会グラウンドゴルフ大会	30名
令和5年7月29日	下崎自治会（平良）	下崎夏祭り	120名
令和5年8月15日	西東自治会（城辺）	健康食作り・グラウンドゴルフ	15名
令和5年10月29日	保良自治会（城辺）	世代間交流グラウンドゴルフ	34名
令和5年11月12日	新城自治会（城辺）	ふれあいグラウンドゴルフ大会	35名
令和5年11月19日	福山自治会（平良）	福山自治会若年・実年交流会	40名
令和5年11月19日	腰原自治会（平良）	自治会サポート助成事業（環境美化清掃活動）	60名
令和5年11月25日	福北自治会（城辺）	自治会住民の健康・生きがいづくりの推進	24名
令和5年12月3日	県営平良東団地（平良）	自治会内清掃ボランティア	97名
令和5年12月9日	仲原自治会（城辺）	自治会サポート事業（清掃活動）	25名
令和5年12月10日	加治道自治会（城辺）	グラウンドゴルフ大会及び忘年会	58名
令和5年12月10日	大浦（平良）	年末忘年会	40名
令和5年12月10日	野原越（平良）	野原越公民館花いっぱい運動	15名
令和5年12月17日	長間自治会（城辺）	長間自治会グラウンドゴルフ大会	24名
令和5年12月17日	高野自治会（平良）	高野自治会忘年会グラウンドゴルフ大会	30名
令和5年12月23日	漲水内会（平良）	漲水地区ロータリー清掃・敬老会・忘年会	15名
令和6年1月2日	長北（城辺）	新春グラウンドゴルフ大会	45名
令和6年1月2日	池間（平良）	池間防災ウォーキング	60名
令和6年1月20日	大三俵三区（平良）	グラウンドゴルフ大会	15名
令和6年2月18日	皆福（城辺）	ボランティア清掃	40名

※仲屋地区へ第7回配分委員会にて助成を行ったが、天候不良による中止及び延期日不確定の為、返還。

令和4年度総件数	23件	令和5年度総件数	22件	前年比	95.65%
----------	-----	----------	-----	-----	--------

(6) 介護予防普及啓発事業（生きいき教室）【宮古島市】

地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平良老人福祉センターA	76	83	81	85	60	65	92	85	89	73	56	84	929
平良老人福祉センターB	85	79	83	78	78	85	77	73	76	67	83	71	935
下崎・西原	31	26	32	41	28	41	46	49	49	42	45	41	471
荷川取	58	37	40	37	37	44	48	54	59	57	54	67	592
狩俣	26	20	25	27	16	21	26	21	24	27	19	20	272
伊良部	31	32	30	31	35	37	32	33	33	32	37	40	403
西城	74	67	62	62	59	61	55	58	59	53	55	60	725
城辺	41	29	34	36	36	38	30	35	38	37	36	38	428
福嶺	61	51	71	58	35	53	47	46	64	54	55	51	646
砂川	70	54	49	52	54	46	56	54	57	57	57	58	664
川瀬・棚原入江・斎手苅・高千穂	54	52	56	43	51	55	55	42	38	36	34	30	546
上地・洲鎌・来間	48	35	49	53	35	58	63	59	56	59	56	40	611
与那覇	26	18	25	44	26	42	22	40	54	55	37	40	429
上野A	39	35	27	43	45	42	29	39	48	47	52	49	495
上野B	31	24	42	32	27	31	32	40	43	40	40	35	417
合計	751	642	706	722	622	719	710	728	787	736	716	724	8,563

令和4年度総件数	7,269件	令和5年度総件数	8,563件	前年比	117.80%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

(7) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場くれよん）【宮古島市】

延べ人数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用状況（乳幼児）	75	78	107	78	56	105	136	161	123	131	180	214	1,444名
利用状況（保護者）	70	71	103	72	56	104	138	160	130	131	182	215	1,432名
電話相談（休止期間）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	名

令和4年度総件数	2,220人	令和5年度総件数	2,876人	前年比	129.55%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

事業名	開催日	参加人数	事業名	開催日	参加人数
親子クッキング（パン作り）	R5.4.14		ベビーマッサージ	R5.10.11	9組
親子ウォーキング（植物園、博物館）	R5.4.20		ハロウインの集い	R5.10.31	
こいのぼり製作	R5.4/17~4/28		10月、11月生まれの誕生会	R5.11.14	
親子海中観光船ツアー（1回目）	R5.5.19		親子ヨガ（子育て講座、1回目）	R5.11.15	8組
親子クッキング（さくら餅）	R5.6.7		12月、1月生まれ誕生会	R5.12.12	
6月生まれの誕生会	R5.6.14		親子ヨガ（子育て講座、2回目）	R6.1.17	9組
父の日プレゼント作り	R5.6/12~6.16		2月生まれの誕生会&節分祭り	R6.2.1	
七夕まつり会	R5.7.6		親子クッキング（なんちゃってたこ焼き）	R6.2.8	
7月生まれの誕生会	R5.7.14		3月生まれの誕生会&ひな祭り	R6.3.1	
8月、9月生まれ誕生会	R5.9.7		親子海中観光船ツアー（1回目）	R6.3.15	
シーサー作り	R5.9.29				
絵本読み聞かせ（子育て講座）	R5.10.4	8組			

令和4年度総件数	22件	令和5年度総件数	22件	前年比	100.00%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

(8) 地域包括支援センター受託事業【宮古島市】

◇総合相談事業

ひらら	年間延べ件数	1,111 件	実数	585 件	認知症支援推進員活動件数	0 件
みやこ	年間延べ件数	789 件	実数	339 件	認知症支援推進員活動件数	0 件
計		1,900 件		924 件		0 件

令和4年度総件数	2,033件	令和5年度総件数	1,900件	前年比	93.46%
----------	--------	----------	--------	-----	--------

◇権利擁護事業

ひらら	虐待通報件数	23 件	事実確認件数	21 件
みやこ	虐待通報件数	8 件	事実確認件数	8 件
計		31 件		29 件

令和4年度総件数	21件	令和5年度総件数	31件	前年比	147.62%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

◇包括的・継続的ケアマネジメント

会議名	地区	回数	参加人数
地域ケア会議	ひらら	38回	690名
	みやこ	39回	712名
介護支援員との会議	ひらら	0回	
	みやこ	0回	
共催または参加会議	ひらら	157回	
	みやこ	171回	
介護支援専門員への支援	ひらら	8回	
	みやこ	20回	

令和4年度総件数	392回	令和5年度総件数	433回	前年比	110.46%
----------	------	----------	------	-----	---------

◇一般介護予防事業

内 容	回数又は件数			参 加 延 ベ 人 数		
	ひ ら ら	み や こ	計	ひ ら ら	み や こ	計
相談件数	0 件	2 件	2 件			0 件
介護予防教室の開催	0 回	3 回	3 件	0 名	0 名	0 件
介護予防に関する講話	28 回	14 回	42 件	324 名	158 名	482 件
地域リハビリテーション活動支援	184 回	282 回	466 件			0 件

令和4年度総人数	811名	令和5年度総人数	482名	前年比	59.43%
----------	------	----------	------	-----	--------

◇指定介護予防支援事業(R6.2月分まで)

	ひ ら ら	み や こ	計
介護予防ケアプラン作成件数	913 件	659 件	1,572 件
介護予防ケママネジメント	754 件	330 件	1,084 件

令和4年度総件数	2,737件	令和5年度総件数	2,656件	前年比	97.04%
----------	--------	----------	--------	-----	--------

◇認知症カフェ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	6	6	5	7	5	5	6	6	5	5	5	6	67回
参加人数	56	66	52	54	46	40	61	66	62	53	49	52	657名

令和4年度総人数	398名	令和5年度総人数	657名	前年比	165.08%
----------	------	----------	------	-----	---------

(9) 居宅介護支援事業

月 介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護支援	81	79	78	64	55	51	51	55	53	51	50	50	718
予防支援	4	3	3	1	2	1	1	2	2	2	2	2	25
予防ケアマネジメント	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11
合 計	88	85	84	66	58	52	52	57	55	53	52	52	754

令和4年度総利用件数	1,120件	令和5年度総利用件数	754件	前年比	67.32%
------------	--------	------------	------	-----	--------

◇ケアプラン検討会議 53回

(10) 特定相談事業

地 区 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
しゃきょう	7	6	7	6	4	6	3	6	5	3	5	4	62 件

令和4年度総利用件数	62件	令和5年度総利用件数	62件	前年比	100.00%
------------	-----	------------	-----	-----	---------

(11) 日常生活自立支援事業（権利擁護）【沖縄県社会福祉協議会、宮古島市】

◇相談援助件数 3,958 件/年

◇契約締結件数 6 件/年

支援件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	331	339	356	371	317	313	298	325	362	325	284	337	3,958

令和4年度総利用件数	4,662件	令和5年度総利用件数	3,958件	前年比	84.90%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

◇年度末利用者数	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合 計
件 数	18 件	39 件	41 件	98 件

令和4年度総利用件数	105件	令和5年度総利用件数	98件	前年比	93.33%
------------	------	------------	-----	-----	--------

(12) 法人後見受任事業【宮古島市】

◇相談、支援件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談援助件数	231	246	271	222	256	293	231	220	250	262	302	321	3,105
利用者数	28	28	28	28	29	29	28	29	29	30	31	31	348

令和4年度総利用件数	2,924件	令和5年度総利用件数	3,105件	前年比	106.19%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

◇年度末利用者内訳

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その 他	合 計
件 数	8 件	12 件	11 件	0 件	31 件

令和4年度総利用件数	27件	令和5年度総利用件数	31件	前年比	114.81%
------------	-----	------------	-----	-----	---------

◇会議開催及び研修参加状況

- ・運営審査会開催4回
- ・法人後見推進会議等参加10回

(13) 歳末助け合い運動配分実績額

世帯種別	合計	世帯種別	合計
一人暮らし高齢者	111世帯	母子父子世帯	36世帯
高齢者世帯	33世帯	長期療養児(者)を抱える世帯	5世帯
寝たきり高齢者を抱える世帯	7世帯	障害児(者)を抱える世帯	11世帯
生活困窮世帯	10世帯	合計	213世帯
一世帯当たりの配分額	3,000円	配分額	639,000円

令和4年度件数	209件	令和5年度件数	213件	前年比	101.91%
---------	------	---------	------	-----	---------

(14) フードバンク活動

(食品個数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
寄付	735	784	2,789	655	970	861	1,890	941	1,079	591	608	901	12,804
提供	701	639	2,924	644	417	768	748	985	1,136	773	814	1,026	11,575

◇フードバンク利用者状況 783回 延べ数

世帯種別	利用回数	世帯種別	利用回数
ひとり親世帯	219	コロナウイルス感染症による収入減世帯	0
多子世帯	91	認知症を抱える世帯	2
高齢者世帯	93	身体障がい児(者)を抱える世帯	20
精神障がい児(者)を抱える世帯	42	アルコール依存症を抱える世帯(者)	3
単身世帯	82	引きこもりを抱える世帯	26
生活保護世帯	15	外国人世帯	4
知的障がい児(者)を抱える世帯	27	障がい児療養中の世帯	0
D V被害世帯(者)	14	ホームレス	3
生活保護申請中の世帯	21	失業中の世帯	27
病気・傷病療養中世帯(者)	39	その他	55

令和4年度件数	327件	令和5年度件数	783件	前年比	239.45%
---------	------	---------	------	-----	---------

(15) 宮古島市地域における生活困窮者支援等のための地域づくり事業【宮古島市】

◇フードバンク「んまんま」と協働している企業

企業名	内容
宮古島市役所エコアイランド推進課	理想通貨の配布
株式会社沖縄銀行 宮古支店	フードボックスの設置
たびのホテルlit宮古島	フードボックスの設置
ホテルローカス	フードボックスの設置
第一ホテル	フードボックスの設置
ホテルピースアイランド宮古島	フードボックスの設置
コーポおきなわ宮古島営業所	フードボックスの設置
宮古島市内郵便局13箇所	フードボックスの設置
おきなわこども未来 ランチサポート	食品提供

令和4年度件数	9件	令和5年度件数	9件	前年比	100.00%
---------	----	---------	----	-----	---------

◇フードバンクへの寄付協力 団体・企業数

企業34社	団体3	学校（児童生徒）0	行政 2
-------	-----	-----------	------

令和4年度件数	30件	令和5年度件数	39件	前年比	130.00%
---------	-----	---------	-----	-----	---------

◇不用品マッチング

寄付者（個人8名 企業3社 5団体）

品 名	寄付者数	品 名	寄付者数
衣類	個人・団体	生理用品	個人・団体

マッチング先及び回数

品 名	回数	品 名	回数
児童館	35回	支援事業所	28回
こども食堂	6回	無料塾	29回

◇市民講習会の実施

実施回数 12回

参加人数 363回

	期日		講演テーマ	講師	参加人数	備考
1	2023/6/10 (土)		正解74か国を旅して考えた事	池城直氏	27	
2	2023/6/14 (水)		詐欺問題トラブルについて	洲鎌加代子氏	16	
3	2023/7/26 (水) 2023/9/27 (水)		脳の不調と身体の関係	宮野 恵氏	59	
4	2023/8/12 (土)		上手に生きるための終活	東恩納寛寿氏	100	
5	2023/9/21 (土)		中高生向けのマナー講座	JAL職員	26	
6	2023/10/12 (木)		健康的な水分の取り方と、美味しいコーヒーの淹れ方	砂川丈見氏	37	
7	2023/11/4 (土)		自分に合う色ってどんな色？教えます	砂川椎名氏	28	
8	2023/11/25 (土) 2023/12/2 (土)		健康講座	琉球治療院	39	
	2023/12/16 (土)		輪になって太鼓を叩こう！	下地真喜子氏	21	
8	2024/3/9 (土)		美容師育成コース説明会	内山友里氏	10	

令和4年度件数	9件	令和5年度件数	12件	前年比	133.33%
令和4年度参加人数	121人	令和5年度件数	363人	前年比	300.00%

(16) 生活福祉資金貸付事務【沖縄県社会福祉協議会】

◇月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	54	53	42	34	83	54	69	171	151	166	180	100	1,157

令和4年度件数	1,572件	令和5年度件数	1,157件	前年比	73.60%
---------	--------	---------	--------	-----	--------

◇対応別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	21	28	15	13	21	16	27	45	39	28	27	29	309
電話	33	25	27	21	62	38	42	126	91	126	117	67	775
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	21	12	36	4	73
合計	54	53	42	34	83	54	69	171	151	166	180	100	1,157

◇貸付状況

	相談件数	申請件数	承認件数	不承認件数	貸付金額
福祉資金	139件	1件	1件	0件	1,650,000円
教育支援資金	94件	0件	0件	0件	0円
緊急小口資金	113件	0件	0件	0件	0円
緊急小口資金特例	81件	0件	0件	0件	0円
総合支援資金	61件	0件	0件	0件	0円
総合支援資金特例	89件	0件	0件	0件	0円
総合支援資金特例延長	0件	0件	0件	0件	0円
総合支援資金特例(再貸付)	0件	0件	0件	0件	0円
不動産担保型生活福祉資金	7件	0件	0件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	2件	0件	0件	0件	0円
償還	501件	76件	565件	24件	242,968,060円
該当なし	70件	0件	0件	0件	0円
合計	1,157件	77件	566件	24件	1,650,000円

令和4年度承認件数	252件	令和5年度承認件数	565件	前年比	224.21%
-----------	------	-----------	------	-----	---------

◇償還状況

	相談件数	申請件数	承認件数	不承認件数	金額
通常貸付償還	196件	0件	0件	0件	0円
特例貸付償還免除	229件	不明	473件	24件	210,114,120円
特例貸付償還猶予	76件	76件	92件	0件	31,403,940円
合計	501件	76件	565件	24件	241,518,060円

※特例貸付免除申請について、申請方法が借受人と県社協との直接対応の為、件数は不明。

また、承認件数・不承認件数・金額については、県社協より通知書が届き次第、把握可能となる。

※猶予申請は、申請月と決定月に時差がある為、申請件数 = 承認件数 + 不承認件数とは限らない。

令和4年度承認件数	1,461件	令和5年度承認件数	565件	前年比	38.67%
-----------	--------	-----------	------	-----	--------

(17) くらしのサポート事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	2	3	3	6	6	5	4	5	8	4	6	8	60

令和4年度総利用件数	47件	令和5年度総利用件数	60件	前年比	127.66%
------------	-----	------------	-----	-----	---------

(18) 宮古島市地域介護予防活動支援事業【宮古島市】

◇通いの場

通いの場名	実施回数	参加人数(延べ)	通いの場名	実施回数	参加人数(延)
1 大神偉人の会	9回	71名	21 のごし会(野原越)	17回	212名
2 水浜会(池間)	40回	639名	22 和(なごみ)の会・与那覇	24回	450名
3 パーツトゥ笑楽校(島尻)	23回	289名	23 ひまわり会(上地)	26回	230名
4 西原	18回	169名	24 ゆうむつ会(川満団地)	37回	202名
5 福々(福山)	45回	731名	25 いんがなす会(新里)	38回	409名
6 大浦	45回	565名	26 はくあいクラブ(宮国)	22回	319名
7 かりまた	48回	584名	27 上美会(上野)	31回	304名
8 がんずう会(神屋)	24回	334名	28 たかうす健康クラブ(比嘉)	24回	257名
9 ふなこし	24回	419名	29 スンダティ(上区)	24回	373名
10 活々ハッピー会(保里2区)	24回	261名	30 吉野	89回	884名
11 和(ハート)の会・東団地	26回	205名	31 ユクダキがんずう会(西東)	66回	646名
12 高野	31回	441名	32 加治道結いの会	11回	148名
13 かぎするう(下崎)	25回	304名	33 福西	22回	352名
14 健美の会(下崎)	7回	66名	34 なかばりの会(仲原)	24回	270名
15 お笑い会(腰原)	23回	296名	35 あぎいすの会(七又)	7回	93名
16 りんりん会(腰原)	24回	354名	36 友利なりやまクラブ	24回	415名
17 墓幸会(東川根)	36回	508名	37 がじゅまるの会(長浜)	24回	283名
18 あさつゆの里会(添道)	36回	252名	38 なかち	45回	492名
19 まいねんみ会(成川)	22回	299名	39 さらはま	15回	174名
20 袖山うむやすクラブ	44回	614名			

令和4年度件数	32件	令和5年度件数	39件	前年比	121.88%
---------	-----	---------	-----	-----	---------

◇いきいき百歳体操

地区名	実施回数	参加人数(延べ)	地区名	実施回数	参加人数(延)
1 池間	43回	672名	20 袖山	44回	680名
2 島尻	34回	410名	21 野原越	35回	435名
3 西原	30回	151名	22 与那覇	45回	870名
4 福山	45回	740名	23 上地	47回	475名
5 大浦	45回	562名	24 川満	0回	0名
6 狩俣	48回	664名	25 川満団地	37回	245名
7 神屋	98回	1,176名	26 新里	40回	430名
8 富名腰	48回	802名	27 宮国	34回	511名
9 保里2区	47回	492名	28 上野	30回	323名
10 東団地	47回	347名	29 比嘉	45回	434名
11 高野	40回	566名	30 上区	45回	444名
12 下崎	44回	584名	31 吉野	50回	514名
13 腰原	50回	469名	32 西東	95回	1,023名
14 東川根	45回	775名	33 新城	47回	319名
15 宮原	47回	366名	34 友利	29回	531名
16 久松	42回	322名	35 長浜	44回	414名
17 アバビル	0回	0名	36 仲地	45回	524名
18 七原	48回	345名	37 佐良浜	41回	415名
19 荷川取	46回	327名			

令和4年度件数	35件	令和5年度件数	35件	前年比	100.00%
---------	-----	---------	-----	-----	---------

(19) 宮古島市指定管理者運営事業

センター名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮古島市社会福祉センター	件数	42件	48件	51件	55件	55件	54件	54件	51件	50件	51件	51件	48件	610件
	人数	596名	700名	624名	628名	573名	624名	609名	599名	635名	665名	630名	697名	7,580名
宮古島市平良老人福祉センター	件数	39件	36件	43件	42件	36件	41件	37件	42件	41件	35件	37件	32件	461件
	人数	490名	541名	672名	612名	504名	601名	507名	532名	574名	447名	513名	428名	6,421名
宮古島市伊良部老人福祉センター	件数	13件	15件	18件	25件	17件	21件	28件	22件	20件	22件	20件	13件	234件
	人数	243名	315名	346名	364名	313名	206名	375名	239名	214名	257名	202名	174名	3,248名
宮古島市下地上野老人福祉センター	件数	32件	20件	23件	8件	18件	27件	29件	30件	27件	25件	21件	12件	272件
	人数	344名	195名	210名	218名	214名	256名	271名	272名	278名	270名	261名	133名	2,922名
合計	件数	126件	119件	135件	130件	126件	143件	148件	145件	138件	133件	129件	105件	1,577件
	人数	1,673名	1,751名	1,852名	1,822名	1,604名	1,687名	1,762名	1,642名	1,701名	1,639名	1,606名	1,432名	20,171名

令和4年度利用人数	11,673名	令和5年度利用人数	20,171名	前年比	172.80%
-----------	---------	-----------	---------	-----	---------

(20) 自主財源確保活動

◇社協会員会費加入促進の取り組み

会費説明会開催

会員会費実績額

戸別会費		賛助会費		団体会費		特別会費		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
89	1,631,300	75	584,500	13	68,000	75	810,800	252 件	3,094,600 円

令和4年度実績額	3,253,900円	令和5年度実績額	3,094,600円	前年比	95.10%
----------	------------	----------	------------	-----	--------

(21) 赤い羽根共同募金の取り組み強化

◇赤い羽根共同募金実績

◎実績額 4,021,080円 ◎目標額 4,980,000円 ◎達成率 80.7%

募金種別	戸別	職域	街頭	学童	法人	個人	イベント	その他
金額(円)	1,846,214	630,965	167,396	616,333	642,065	35,905	38,645	43,557

令和4年度実績額	3,748,382円	令和5年度実績額	4,021,080円	前年比	107.28%
----------	------------	----------	------------	-----	---------

◇能登半島地震災害義援金実績

◎実績額 376,248円

募金種別	法人	団体	学童	個人	イベント
金額(円)	8,000	214,397	48,394	53,312	52,145

(22) 歳末助け合い運動実績額

◎実績額 624,476円 ◎目標額 1,000,000円 ◎達成率 62.4%

募金種別	職域	イベント	個人	法人	街頭
金額(円)	499,445		20,000	0	105,031

令和4年度実績額	499,445円	令和5年度実績額	624,476円	前年比	125.03%
----------	----------	----------	----------	-----	---------

(23) 訪問介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	513	519	508	561	506	522	518	489	462	447	463	470	5,978

令和4年度総利用件数	6,501件	令和5年度総利用件数	5,978件	前年比	91.96%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

(24) 通所介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
城辺	290	324	251	257	220	270	275	309	308	263	290	316	3,373
計	290	324	251	257	220	270	275	309	308	263	290	316	3,373

令和4年度総利用件数	3,220件	令和5年度総利用件数	3,373件	前年比	104.75%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

(25) 小規模多機能型居宅介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
きやーぎ	1,115	1,122	1,016	1,061	957	964	918	862	903	900	875	848	11,541
たかやま	376	359	371	418	483	428	453	487	452	428	453	473	5,181
計	1,491	1,481	1,387	1,479	1,440	1,392	1,371	1,349	1,355	1,328	1,328	1,321	16,722

令和4年度総利用件数	16,351件	令和5年度総利用件数	16,722件	前年比	102.27%
------------	---------	------------	---------	-----	---------

(26) 障害者総合支援事業

障害者総合支援（訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	501	508	456	426	362	377	388	364	360	351	341	350	4,784

令和4年度総利用件数	6,040件	令和5年度総利用件数	4,784件	前年比	79.21%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

障害者総合支援（同行援護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	65	74	64	69	66	69	66	65	62	57	57	81	795

令和4年度総利用件数	830件	令和5年度総利用件数	795件	前年比	95.78%
------------	------	------------	------	-----	--------

障害者総合支援（重度訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	21	20	19	21	18	22	16	22	22	20	21	22	244

令和4年度総利用件数	403件	令和5年度総利用件数	244件	前年比	60.55%
------------	------	------------	------	-----	--------

(27) 一般旅客自動車運送事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	192	176	181	190	198	170	197	206	193	201	202	183	2,289

令和4年度総利用件数	2,784件	令和5年度総利用件数	2,289件	前年比	82.22%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

(28) 移動支援事業【宮古島市】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	85	77	86	85	74	70	71	70	72	71	93	89	943
令和4年度総利用件数	1,150件				令和5年度総利用件数	943件				前年比	82.00%		

(29) 介護タクシー

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	0	2	1	2	0	1	0	3	0	1	0	1	11
令和4年度総利用件数	19件				令和5年度総利用件数	11件				前年比	57.89%		

(30) 高齢者見守り事業【宮古島市】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	49
きやーぎ	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	43
計	8	8	8	9	8	7	7	7	7	7	8	8	92
令和4年度総利用件数	114件				令和5年度総利用件数	92件				前年比	80.70%		

(31) 器具備品貸出状況

品名	回数	品名	回数
車椅子	48	杖	1
歩行器	1	餅つきセット	8
ポータブルトイレ	6	シャワーキャリー	1
車両	18	スロープ	0
シャワーチェア	5	ニュースポーツ・レク用具	31
ストレッチャー	0	会議用机・椅子	3

令和4年度総利用件数	102件	令和5年度総利用件数	122件	前年比	119.61%
------------	------	------------	------	-----	---------

(32) 困難を抱えた市民への支援

◇宮古島市法外援助給付事業(地域福祉活動事業) 9件

令和4年度総利用件数	4件	令和5年度総利用件数	9件	前年比	225.00%
------------	----	------------	----	-----	---------

(33) 評議員会の開催

第1回 評議員会

日 時：令和5年6月19日 10:09～11:29

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 令和4年度事業報告承認について

議案第2号 令和4年度決算承認について

議案第3号 令和5年度資金収支一次補正予算（案）について

議案第4号 任期満了に伴う役員改選（案）について

第2回評議員会

日 時：令和5年11月8日 10:12～10:46

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 令和5年度資金収支二次補正予算（案）について

第3回評議員会

日 時：令和6年3月21日 10:05～11:32
会 場：宮古島市社会福祉センター ホール
議 題：議案第1号 令和6年度事業計画（案）について
議案第2号 令和6年度資金収支予算（案）について

（34）理事会の開催

第1回 理事会

日 時：令和5年6月2日 10:00～11:20
会 場：宮古島市社会福祉センター ホール
議 題：議案第1号 紹介規程改正（案）について
議案第2号 令和4年度事業報告承認について
議案第3号 令和4年度決算承認について
議案第4号 令和5年度資金収支一次補正予算（案）について
議案第5号 令和5年度第1回評議員会（定時）招集について

会長職務執行状況報告

第2回 理事会

日 時：令和5年6月19日 14:17～15:00
会 場：宮古島市社会福祉センター ホール
議 題：議案第1号 宮古島市社会福祉協議会会长、副会長選定について

第3回 理事会

日 時：令和5年10月27日 10:10～11:19
会 場：宮古島市社会福祉センター ホール
議 題：議案第1号 宮古島市社会福祉協議会経理規程改正（案）について
議案第2号 令和5年度資金収支二次補正予算（案）について
議案第3号 令和5年度第2回評議員会招集について

会長職務執行状況報告

第4回 理事会

日 時：令和6年3月13日 10:05～12:26
会 場：宮古島市社会福祉センター ホール
議 題：議案第1号 紹介規程改正（案）について
議案第2号 介護職員紹介規程改正（案）について
議案第3号 特定個人情報取扱規程（案）について
議案第4号 安全運転管理規程（案）について
議案第5号 令和6年度事業計画（案）について
議案第6号 令和6年度資金収支予算（案）について
議案第7号 任期満了による第三者委員選任（案）について
議案第8号 令和5年度第3回評議員会招集について

（34）役員会議、課長会議の開催

◇役員会議 24回 ◇課長会議 25回

◇決算監査の実施

日時：令和5年5月19日 場所：宮古島市社会福祉センター

◇社会福祉法人指導監査の実施

日時：令和5年9月15日 場所：宮古島市社会福祉センター

令和5年度研修・訓練実績

1. 全体研修

全体	開催月	実績	参加
内部研修	6月	宮古島市社会福祉協議会第1回交通安全研修	職員51名
	7月	宮古島市社会福祉協議会初任職員研修	入職1年未満職員9名
	10月	宮古島市社会福祉協議会現任職員研修	動画研修
	10月	宮古島市社会福祉協議会第2回交通安全研修	職員27名
	12月	宮古島市社会福祉センター消防訓練	職員19名 利用者23名
	2月	宮古島市社会福祉協議会管理職員研修	職員8名
外部研修	9月	職場のメンタルヘルス（宮古地区産業保健センター）	職員7名
	11月	労働安全衛生研修（中央労働災害防止協会）	職員7名

2. 企画総務課

企画総務課	開催月	実績	参加
外部研修	7月	災害時協定に基づく市町村社協連絡会（那覇市）	職員1名
	7月	社会福祉法人の制度及び会計（那覇市）	職員1名
	11月	市区町村災害VC運営指者講師養成研修会（東京都）	職員1名
	2月	障害者雇用制度説明会（那覇市）	職員1名
	3月	災害ボランティアセンター運営者研修（北谷町）	職員1名

3. 地域福祉課

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	5月	SCカフェ10 生活支援コーディネーターって何？ ：国際長寿センター	我如古
内部研修	7月	インクルーシブ教育とは？ みんなの学校上映	我如古
内部研修	10月	ゲートキーパー養成研修	我如古
外部研修	8月～10月	成年後見人材育成研修（4回）	後見支援専門員
外部研修	6月	第168回 市町村職員を対象とするセミナー	後見支援専門員
外部研修	10月	成年後見制度促進に関する関係自治体との打ち合わせ	後見支援専門員
外部研修	1月	名簿登録研修	後見支援専門員
外部研修	1月	令和5年度 第1回沖縄県成年後見制度利用促進協議会	後見支援専門員
外部研修	2月	令和5年度任意後見・補助・保佐等の相談体制強化・広報啓発事業	後見支援専門員
外部研修	2月	令和5年度地域における権利擁護推進会議	後見支援専門員
外部研修	7月	令和5年度日常生活自立支援事業研究協議会	地域福祉課課長・日常生活自立支援専門員
外部研修	7月・2月	令和4年度第1回、第2回宮古島市地域包括支援センター運営協議会（2回参加）	日常生活自立支援専門員
外部研修	7月	令和4年度第1回宮古島市認知症初期集中支援チーム検討委員会	日常生活自立支援専門員
外部研修	8月	令和5年度 アルコール関連問題支援研修	日常生活自立支援専門員
外部研修	12月	令和5年度 権利擁護研修会	日常生活自立支援専門員
外部研修	10月～2月	令和5年度 日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会（オンライン研修、集合研修）	日常生活自立支援専門員
外部研修	2月	令和5年度 日常生活自立支援事業 生活支援員研修会（オンライン動画配信）	日常生活自立支援専門員
外部研修	2月	令和5年度 地域における権利擁護推進会議	日常生活自立支援専門員
外部研修	2月	地域共生社会の実現のために（地区社協連絡会）	日自・後見専門員

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	5月	SCカフェ10 生活支援コーディネーターって何? :国際長寿センター	通いの場コーディネーター2名
外部研修	5月	地域包括ケアシステム総論セミナー	通いの場コーディネーター2名
外部研修	6月	令和5年度市町村支援アドバイザー派遣 地域づくり市町村支援業務	通いの場コーディネーター2名
内部研修	6月	第1回交通安全（動画視聴研修）	通いの場コーディネーター2名
外部研修	7月	SCカフェ11 居場所・通いの場 :国際長寿センター	通いの場コーディネーター2名
内部研修	7月	インクルーシブ教育とは? みんなの学校上映	通いの場コーディネーター2名
内部研修	7月	新人研修	通いの場コーディネーター1名
外部研修	10月	リエイブルメントとは 短期集中予防サービスに 効果をもたらすポイント :国際長寿センター	通いの場コーディネーター2名
内部研修	10月	第2回交通安全（動画視聴研修）	通いの場コーディネーター2名
内部研修	10月	ゲートキーパー養成研修	通いの場コーディネーター2名
外部研修	10月	意思伝達装置 体験講座&IOSアクセシビリティ講座:沖縄県 障がい者ITサポートセンター	通いの場コーディネーター2名
外部研修	12月	SCカフェ13 マッチング :国際長寿センター	通いの場コーディネーター2名
外部研修	12月	地域連携と社会資源～強みを生かして社会資源になる～:一般社団 法人コリンク	通いの場コーディネーター2名
外部研修	1月	生活支援コーディネーター情報交換会 :全国コミュニティライフサポートセンター	通いの場コーディネーター2名
内部研修	1月	防災勉強会	通いの場コーディネーター2名
外部研修	2月	市町村における包括的支援体制づくり推進セミナー	通いの場コーディネーター2名
外部研修	3月	企業・団体の地域貢献活動推進セミナー	通いの場コーディネーター1名
外部研修	3月	オンデマンド 総合研修 包括的支援体制と地域共生社会・共生社 会の実現に向けた総合研修	通いの場コーディネーター2名

地域包括支援センター

地域包括	開催月	実績	参加
内部研修	12月	かかりつけ医等心の健康対応力向上研修	職員9名
	12月	業務継続計画 (BCP) 1	職員9名
	1月	業務継続計画 (BCP) 2	職員10名
	3月	業務継続計画 (BCP) 3	職員9名
外部研修	4月	パーソナルサポート事業	職員9名
外部研修	4月	軽度者福祉用具貸与	職員7名
外部研修	4月	暫定プラン	職員6名
外部研修	4月	解決志向アプローチでみんな元気に	職員2名
外部研修	5月	友愛訪問活動	職員4名
外部研修	5月	地域共生と予防を考える地域ミーティング	職員2名
外部研修	5月	主任ケアマネ更新プレ研修	職員1名
外部研修	5月	主任ケアマネ更新プレ研修	職員1名
外部研修	5月	アンガーマネジメント	職員4名
外部研修	6月	主任ケアマネ更新研修事前講義	職員1名

地域包括	開催月	実績	参加
外部研修	6月	主任ケアマネ更新研修	職員1名
外部研修	6月	交通安全について	職員10名
外部研修	6月	聞こえが悪くなる病気と治療	職員3名
外部研修	6月	大腸癌の現状・予防法・早期発見について	職員3名
外部研修	6月	主任ケアマネオンデマンド研修	職員1名
外部研修	7月	主任ケアマネ更新研修	職員1名
外部研修	7月	在宅医療の薬剤について	職員3名
外部研修	7月	総合事業について	職員10名
外部研修	7月	認知症と医科歯科多職種連携	職員3名
外部研修	7月	食の食べ合わせについて	職員9名
外部研修	7月	感染症対策研修	職員3名
外部研修	7月	在宅医療心不全について	職員3名
外部研修	7月	若年性認知症支援者研修	職員5名
外部研修	7月	帶状疱疹について	職員4名
外部研修	7月	新任職員研修	職員1名
外部研修	7月	ケアマネ専門Ⅱ	職員1名
外部研修	7月	リーダー研修	職員1名
外部研修	8月	ケアマネ専門Ⅱ	職員1名
外部研修	8月	アルコール依存症支援者研修	職員1名
外部研修	8月	栄養講話	職員4名
外部研修	8月	糖尿病アルゴリズムに基づく糖尿病診療	職員8名
外部研修	8月	第10回日本在宅栄養管理学会学術集会（シンポジウム1）	職員1名
外部研修	8月	薬から食へ	職員1名
外部研修	8月	地域で求められる栄養ケア・ステーション	職員1名
外部研修	8月	超高齢者社会における食支援の意義	職員1名
外部研修	8月	人生100年時代私たちが描く未来予想図	職員1名
外部研修	8月	全国栄養士大会・オンライン	職員1名
外部研修	8月	安全衛生推進者研修	職員1名
外部研修	8月	人間関係を豊かにするアサーティブコミュニケーション	職員1名
外部研修	9月	市町村における包括的支援体制づくり推進セミナー	職員9名
外部研修	9月	ココロと体のお話	職員1名
外部研修	9月	認知症県民フォーラム	職員1名
外部研修	9月	ケアマネ専門Ⅱ	職員1名
外部研修	9月	島で育む認知症	職員2名
外部研修	10月	質の高いチームを目指して（コーチング技術の活用）	職員1名
外部研修	10月	主任介護支援専門員研修1	職員1名
外部研修	10月	主任介護支援専門員研修2	職員1名

地域包括	開催月	実績	参加
外部研修	10月	高次脳機能障害者 の運転免許再開支援について	職員1名
外部研修	10月	安全衛生推進者養成講習	職員1名
外部研修	10月	地域包括・在宅支援センターの現在地	職員10名
外部研修	11月	災害時のBCP策定支援研修	職員1名
外部研修	11月	高齢者の気分障害と認知症	職員3名
外部研修	11月	共生社会の実現を推進する為の認知症基本法の展開に向けて	職員2名
外部研修	11月	ヤングケアラーを学ぼう	職員2名
外部研修	11月	審査会研修	職員2名
外部研修	11月	食生活と植物油栄養に関する研修	職員6名
外部研修	11月	防災を考える栄養士研修会	職員1名
外部研修	11月	栄養ケアプロセス研修	職員1名
外部研修	12月	多様化する引きこもりの理解と支援	職員1名
外部研修	12月	地域包括ケアシステムの具体化について	職員7名
外部研修	12月	要支援者等の自立支援し する仕組みを作ろう	職員2名
外部研修	12月	住民主体の介護予防普及促進事業プレセミナー	職員9名
外部研修	12月	飲酒とアルコール依存症関連性	職員4名
外部研修	12月	メンタルヘルスケア研修医	職員1名
外部研修	12月	栄養士研修発表会	職員1名
外部研修	1月	認知症ケアパス	職員8名
外部研修	1月	認知症の人の意思決定サポート	職員1名
外部研修	1月	県地域包括・在介協南部地区情報交換会	職員1名
外部研修	1月	メンタルヘルスケア講習会	職員2名
外部研修	1月	自殺対策支援研修	職員2名
外部研修	1月	帯状疱疹の予防と治療について	職員7名
外部研修	1月	共生社会の実現を推進するための認知症基本法	職員1名
外部研修	2月	県地域包括・在介協議会第2回研修	職員1名
外部研修	2月	市町村における包括的支援体制づくり推進（重層的支援体制整備事業）	職員5名
外部研修	2月	県地域包括・在介センターの体制整備と職員の働きがい	職員8名
外部研修	2月	ユマニチュード講演会	職員2名
外部研修	2月	オーラルフレイル予防	職員4名
外部研修	2月	お宝発表会	職員2名
外部研修	2月	身寄りがない人の支援体制	職員2名
外部研修	2月	第2回自殺対策支援者研修	職員2名
外部研修	2月	権利擁護支援に向けた中核機関の役割について	職員1名
外部研修	2月	県地域包括・在介センターの体制整備と職員の働きがい	職員6名
外部研修	3月	令和5年度企業・団体の地域貢献推進セミナー	職員1名
外部研修	3月	介護報酬改訂について	職員5名

地域包括	開催月	実績	参加
外部研修	3月	若年性認知症自立支援ネットワーク	職員2名
外部研修	3月	沖縄県報酬	職員5名
外部研修	4月	暫定ケアプラン	職員2名
外部研修	4月	軽度者の福祉用具利用	職員1名
外部研修	4月	沖縄県おしごと応援センター	職員7名
外部研修	4月	成年後見人について考える	職員1名
外部研修	5月	アンガーマネジメント研修会	職員2名
外部研修	5月	友愛・見守り介護予防活動	職員1名
外部研修	5月	共生と予防を考える地域づくりミーティング(これからの認知症の方向性について)	職員5名
外部研修	5月	若年性認知症家族会シンポジウム	職員3名
外部研修	6月	大腸がんの現状、予防法、早期発見	職員3名
外部研修	6月	きこえが悪くなる病気と治療	職員3名
内部研修	6月	交通安全研修会	職員8名
外部研修	7月	包括リーダー研修会	職員1名
外部研修	7月	在宅患者の服薬管理	職員1名
外部研修	7月	在宅医療WEBセミナー(心不全について)	職員1名
外部研修	7月	認知症予防に良い食材について	職員1名
外部研修	7月	若年性認知症研修会	職員2名
外部研修	7月	オンデマンド「高齢者虐待対応標準研修」	職員1名
外部研修	7月	高齢者虐待対応標準研修	職員1名
外部研修	7月	認知症と医科歯科多職種連携	職員4名
外部研修	7月	感染症対策研修会	職員1名
外部研修	7月	帯状疱疹について	職員2名
内部研修	7月	食べ合わせについて	職員8名
内部研修	7月	総合事業について	職員8名
外部研修	8月	栄養講話	職員4名
外部研修	8月	令和5年度シニア活動実践セミナー	職員2名
外部研修	8月	令和5年度アルコール関連問題支援者研修会	職員1名
外部研修	8月	糖尿病アルゴリズムに基づく糖尿病診療	職員4名
外部研修	9月	認知症県民フォーラム	職員1名
外部研修	9月	包括的支援体制づくり推進セミナー	職員8名
外部研修	10月	県地域包括協議会理事会	職員1名
外部研修	10月	室の高いチームを目指して～コミュニケーション技術の活用～	職員1名
外部研修	10月	安全衛生推進者養成講座	職員1名
外部研修	10月	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会	職員3名
外部研修	10月	高次機能障害者の運転免許再開支援について	職員2名
外部研修	11月	食生活と食物由と栄養	職員2名

地域包括	開催月	実績	参加
外部研修	11月	かかりつけ医など心の対応向上	職員1名
外部研修	11月	宮古島市ケア俱楽部の説明会	職員4名
外部研修	11月	R5年度BCPスキルアップ研修会	職員3名
外部研修	11月	若年性認知症ヤングケアラーについて	職員2名
外部研修	11月	認知症希望者大使フォーラム (認知症基本法の今後の展開に向けて)	職員4名
外部研修	11月	高齢者の気分障害と認知症	職員5名
外部研修	12月	大東市の総合事業の取り組み	職員6名
外部研修	12月	精神科オンライン研修会	職員 1名
外部研修	12月	ひきこもり相談支援実践研修会	職員 2名
外部研修	12月	メンタルヘルス講習会	職員 1名
内部研修	12月	包括内伝達研修(かかりつけ医等心の健康対応向上研修)	職員 9名
内部研修	12月	BCP作成研修	職員 7名
外部研修	12月	あなたのまちで「要支援等の生活」を自立させる仕組みを作ろう!~リエイブルメントがキーポイント	職員 1名
外部研修	12月	第5回大会日本地域包括ケア学会	職員 5名
外部研修	12月	アルコール依存症研修会	職員 2名
外部研修	1月	県地域包括・在介南部地区情報交換会	職員 1名
外部研修	1月	メンタルヘルス研修会	職員 1名
外部研修	1月	帯状疱疹の予防と治療について	職員 4名
外部研修	1月	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の成立を踏まえた今後の期待と課題	職員 1名
外部研修	1月	認知症の人の意見決定サポートおよび高齢者の医療同意能力評価について	職員 1名
外部研修	1月	アルコール教室①	職員 3名
外部研修	1月	アルコール教室②	職員 2名
外部研修	1月	認知症ケアバスについて	職員 8名
外部研修	1月	BCP研修会	職員 7名
外部研修	2月	第2回市町村における包括的な支援体制づくり推進セミナー	職員 5名
外部研修	2月	R5年度沖縄県在宅介護センター・地域包括支援センターの果たす役割－好事例に学んでみる	職員 1名
外部研修	2月	お宝発表会	職員 3名
外部研修	2月	自殺対策支援者研修会	職員 2名
外部研修	2月	すいしんセッション	職員 1名
外部研修	2月	オーラルフレイル研修	職員 3名
外部研修	2月	成年後見活用講座	職員 1名
外部研修	2月	カスタマーハラスマント研修	職員 1名
外部研修	2月	精神障害者グループホームと地域 上映会	職員 1名
外部研修	2月	病院・施設での「身寄りのない人」の支援体制づくり	職員 2名
外部研修	3月	沖縄県若年性認知症支援推進事業	職員 4名
外部研修	3月	企業団体の地域献立活動推進セミナー	職員 1名
外部研修	3月	認知症介護研究研修会	職員 1名

地域包括	開催月	実績	参加
外部研修	3月	在介協オンデマンド	職員2名
外部研修	3月	BCP研修会	職員6名
外部研修	3月	権利擁護研修	職員1名
外部研修	3月	地域包括支援センター研修 (働きがいについて)	職員5名
外部研修	3月	アピラントスケアについて	職員1名
外部研修	3月	県報酬改定研修(ケアマネ支部会)	職員4名
外部研修	3月	県報酬改定研修	職員2名

4. 事業課

事業課	開催月	研修名等	参加
内部研修	4月	書面研修 (利用者の生活に関連した福祉制度①成年後見事業)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	5月	書面研修 (利用者の生活に関連した福祉制度②日常生活自立支援事業 (旧権利擁護事業))	全事業課職員へ資料配布
内部研修	6月	書面研修 (接遇研修)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	7月	書面研修 (介護における「心理的虐待と気づき」)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	8月	書面研修 (ゲートキーパーとしての心得)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	9月	救急救命講座	全事業課職員対象
内部研修	10月	認知症研修 (訪問介護しやきょう)	訪問介護しやきょう職員参加
内部研修	10月	交通安全動画視聴研修	全事業課職員対象
内部研修	11月	書面研修 (ヒヤリハットと安全について)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	11月	メンタルヘルス動画視聴研修	全事業課職員対象
内部研修	12月	書面研修 (個人情報・プライバシーと職業倫理)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	2月	書面研修 (感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修)	全事業課職員へ資料配布
内部研修	3月	交通安全動画視聴研修	全事業課職員対象
内部研修	3月	書面研修 (身体拘束について)	全事業課職員へ資料配布

居宅介護支援事業所

居宅介護支援	開催月	研修名等	参加
外部研修	4月	宮古支部定例会及び研修会 解決志向アプローチでみんな元気に：長田 清	長嶺、濱川
内部研修	4月	書面研修 利用者の生活に関連した福祉制度① 「成年後見事業」	内間、長嶺、有利、濱川
内部研修	6月	書面研修 利用者の生活に関連した福祉制度② 「日常生活自立支援事業 (旧権利擁護事業)」	内間、長嶺、有利、濱川
外部研修	7月	沖縄県介護支援専門員協会 定時社員総会 令和6年 介護保険法改正の方向性について：厚生労働省	長嶺、濱川
内部研修	7月	書面研修 非言語的コミュニケーションの重要性を再確認しよう	長嶺、濱川、有利
内部研修	8月	書面研修 虐待と気づきについて	長嶺、濱川、有利
外部研修	9月	宮古支部定例会及び研修会 びきあずネットの紹介、宮古病院との医療介護連携 他	長嶺、濱川
内部研修	10月	交通安全研修 動画視聴研修	長嶺、濱川
内部研修	11月	メンタルヘルス研修 動画視聴研修	長嶺、濱川
内部研修	12月	書面研修「ヒヤリハットと安全」について	長嶺、濱川
内部研修	1月	居宅内研修「認知症及び認知症ケア」について	長嶺、濱川

居宅介護支援	開催月	研修名等	参加
内部研修	2月	書面研修「個人情報・プライバシーと職業倫理」	長嶺、濱川
内部研修	2月	書面研修 「感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修」	長嶺、濱川
内部研修	3月	書面研修「身体拘束」について	長嶺、濱川

小規模多機能型居宅介護事業所きやーぎ

きやーぎ	開催月	研修名等	参加
外部研修	4月	沖縄県介護支援専門員連絡会 宮古支部総会	職員1名
外部研修	4月	沖縄県小規模多機能連絡会 定期総会・研修会	職員1名
外部研修	5月	若年性認知症家族会立ち上げ記念シンポジウム	職員1名
外部研修	5月	解決志向アプローチ	職員1名
外部研修	5月	台風対策会議	職員4名
外部研修	6月	第1回きやーぎ運営推進会議	職員2名
外部研修	6月	沖縄県介護支援専門員協会総会・研修会	職員1名
外部研修	6月	沖縄県介護支援専門員協会宮古支部定例会	職員1名
外部研修	7月	第1回在宅フォーラム	職員1名
外部研修	7月	在宅医療Webセミナー	職員1名
外部研修	7月	第2回きやーぎ運営推進会議	職員2名
内部研修	7月	ヒヤリハット検討会（食器の選び方、安全使用について他）	全職員
外部研修	8月	沖縄県介護支援専門員協会宮古支部定例会及び研修会	職員1名
外部研修	8月	介護施設のBCP策定対策 基礎編	職員1名
外部研修	8月	防火管理者講習（甲種）2日間	職員2名
外部研修	8月	安全衛生推進者養成講習	職員1名
外部研修	9月	腰痛予防説明会	職員1名
外部研修	9月	在宅医療Webセミナー「地域緩和ケアとケアネットワークを再考する」	職員1名
内部研修	9月	第3回きやーぎ運営推進会議	職員2名
外部研修	9月	安全衛生委員会	職員3名
外部研修	9月	第3回きやーぎ運営推進会議	職員2名
外部研修	10月	認知症介護基礎研修受講	職員1名
内部研修	10月	評価の学習	全職員
内部研修	11月	ヒヤリハット検討会（車いすの安全使用について他）	全職員
外部研修	11月	安全衛生委員会	職員3名
外部研修	12月	沖縄県小規模多機能連絡会「BCP研修」	職員1名
外部研修	12月	安全衛生委員会	職員3名
内部研修	12月	第4回きやーぎ運営推進会議	職員2名
内部研修	1月	第1回宮古島市社協小規模多機能連絡会	職員3名
内部研修	1月	安全衛生委員会	職員3名
外部研修	2月	安全衛生委員会	職員3名
外部研修	2月	第2回宮古島市社協小規模多機能連絡会	職員2名
内部研修	2月	沖縄県多職種連携ケアマネジメント研修～現場のカタマラメント対策を本気で考える～	職員1名
外部研修	2月	第1回多職種連携研修会「脳卒中のコト」脳の解剖と脳卒中（らいいくゆー訪問看護ステーション主催）	職員1名
外部研修	2月	沖縄県在宅医療推進フォーラム2023年度	職員2名
外部研修	2月	ユマニチュード講演会	職員2名

きやーぎ	開催月	研修名等	参加
内部研修	2月	送迎車両の安全動作確認（動画視聴及び実践）	全職員
外部研修	2月	介護に関する入門的研修（基礎講座及び入門講座）	職員1名
内部研修	3月	認知症介護基礎研修受講	職員2名
外部研修	3月	沖縄県介護支援専門員協会宮古支部 研修会「令和6年度 介護報酬改定について」	職員1名
外部研修	3月	「第2回福祉サービスに関する苦情解決セミナー」	職員1名
外部研修	3月	感染対策会議	全職員
外部研修	3月	沖縄県小規模多機能居宅介護事業所連絡会研修会「令和6年度介護報酬改定について」	職員1名
内部研修	3月	ヒヤリハット検討会（安全な入浴について他）	職員1名

小規模多機能型居宅介護事業所たかやま

内部・外部	開催月	研修名等	参加
外部研修	4月	沖縄県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会運営についての研修会	赤嶺
内部研修	4月	感染症に関して（コロナ5類へ移行後の対応）	職員全員
外部研修	5月	沖縄県小規模多機能型居宅介護事業所ケアマネ情報交換会	川田
内部研修	5月	利用者の生活に関する福祉制度①「成年後見事業」	職員全員
外部研修	5月	地域密着型小規模多機能型居宅介護事業所運営についての研究発表	赤嶺
内部研修	6月	宮古島市社会福祉協議会交通安全研修	職員全員
外部研修	6月	超高齢化社会で必要とされる栄養管理の知識（zoom）	川田
内部研修	6月	感染症対策のBCP策定について	赤嶺
内部研修	6月	利用者の生活に関する福祉制度②「日常生活自立支援事業」	職員全員
外部研修	6月	事業支援セミナー～感染症対策できてますか？BCP～	赤嶺
内部研修	7月	非言語的コミュニケーションの重要性を確認しよう	職員全員
外部研修	7月	5類後のコロナ感染症対策研修会	川田・知念・與那覇
内部研修	8月	虐待と気づきについて	職員全員
内部研修	9月	救命救急研修	知念・西平・漢那
内部研修	10月	メンタルヘルスケア研修	職員全員
内部研修	11月	宮古島市社会福祉協議会交通安全研修	職員全員
内部研修	12月	ヒヤリ・ハットについて	職員全員
外部研修	12月	福祉サービスに関する苦情解決セミナー研修	赤嶺
内部研修	12月	認知症ケアについて	職員全員
外部研修	1月	沖縄県介護支援専門員研修大会in那覇	川田
内部研修	1月	個人情報とプライバシーと職業倫理	職員全員
内部研修	2月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	職員全員
内部研修	3月	身体拘束について	職員全員